第３章　調査結果の分析

1　定住性

（1）居住地域の評価
（2）居住地域評価の経年比較
（3）地域の暮らしやすさ
（4）特に暮らしにくいと感じること
（5）定住意向

１．定住性

（１）居住地域の評価

■　〈普段の買い物が便利である〉と感じている人は７割台半ば

問１　あなたはお住まいの地域について、どのように感じていますか（○はそれぞれ１つずつ）。

図１－１－１－①　経年比較／居住地域の評価

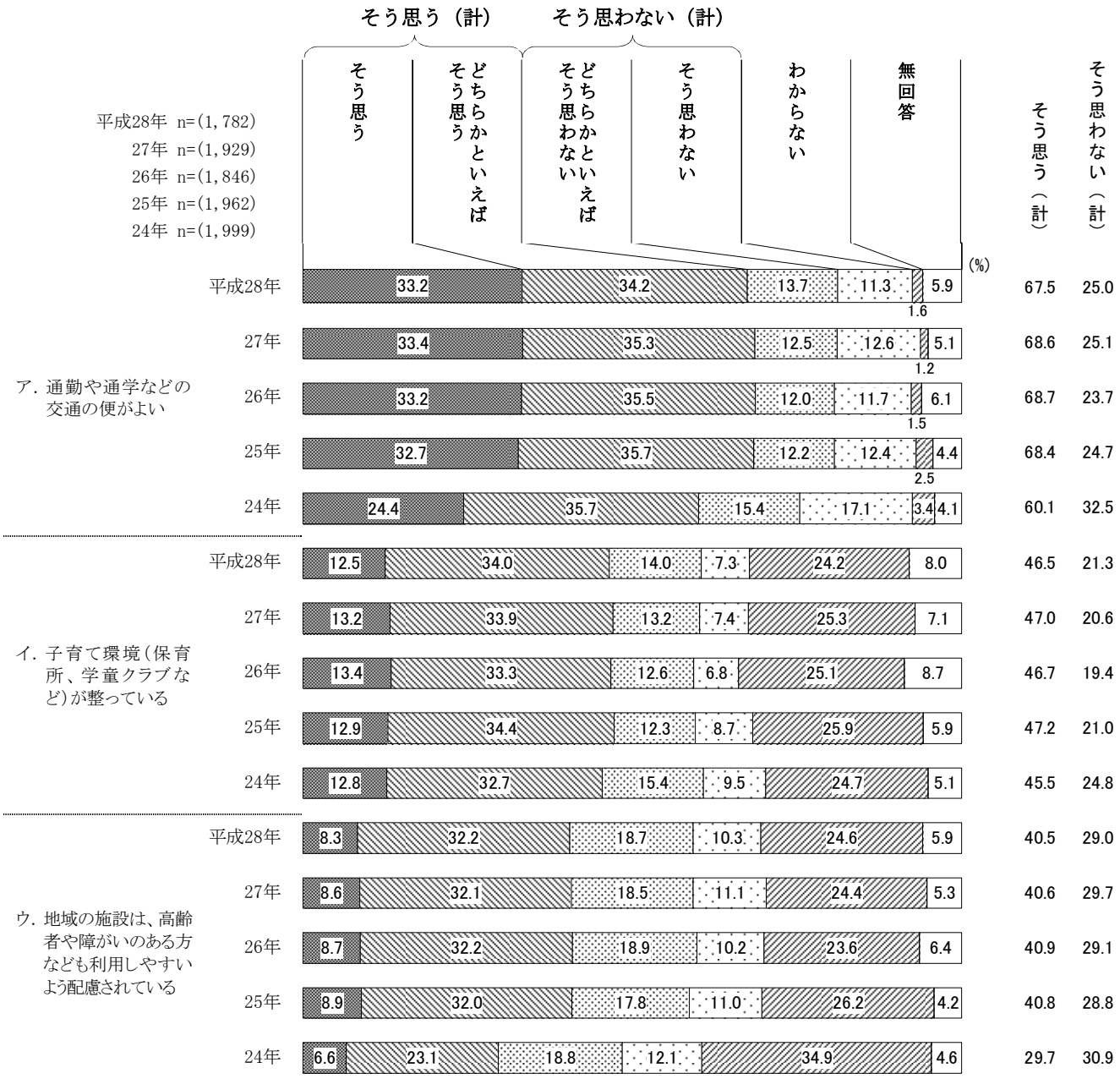


図１－１－１－②　経年比較／居住地域の評価

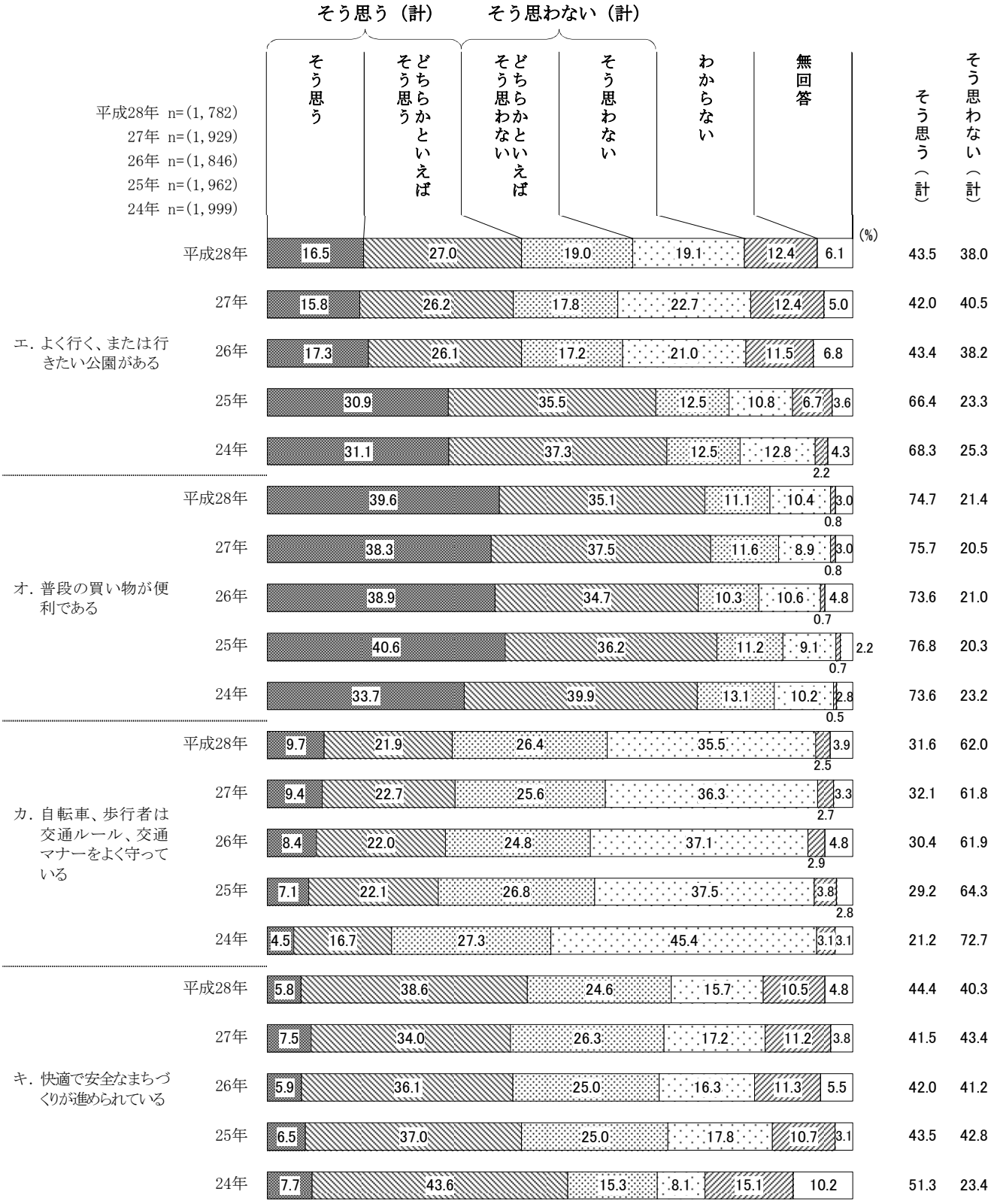
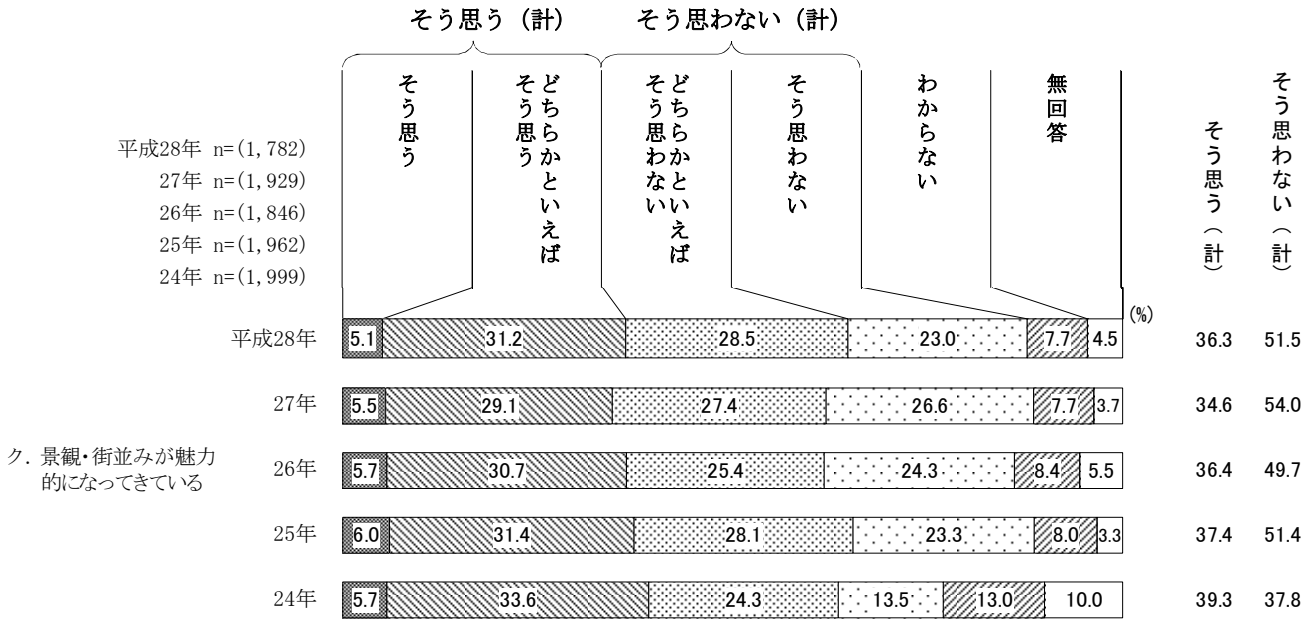


図１－１－１－③　経年比較／居住地域の評価



※ウは、24年度「高齢者や障がいのある方も施設が利用しやすい」から表現をかえた。
※エは、25年度「利用しやすい公園がある」から表現をかえた。

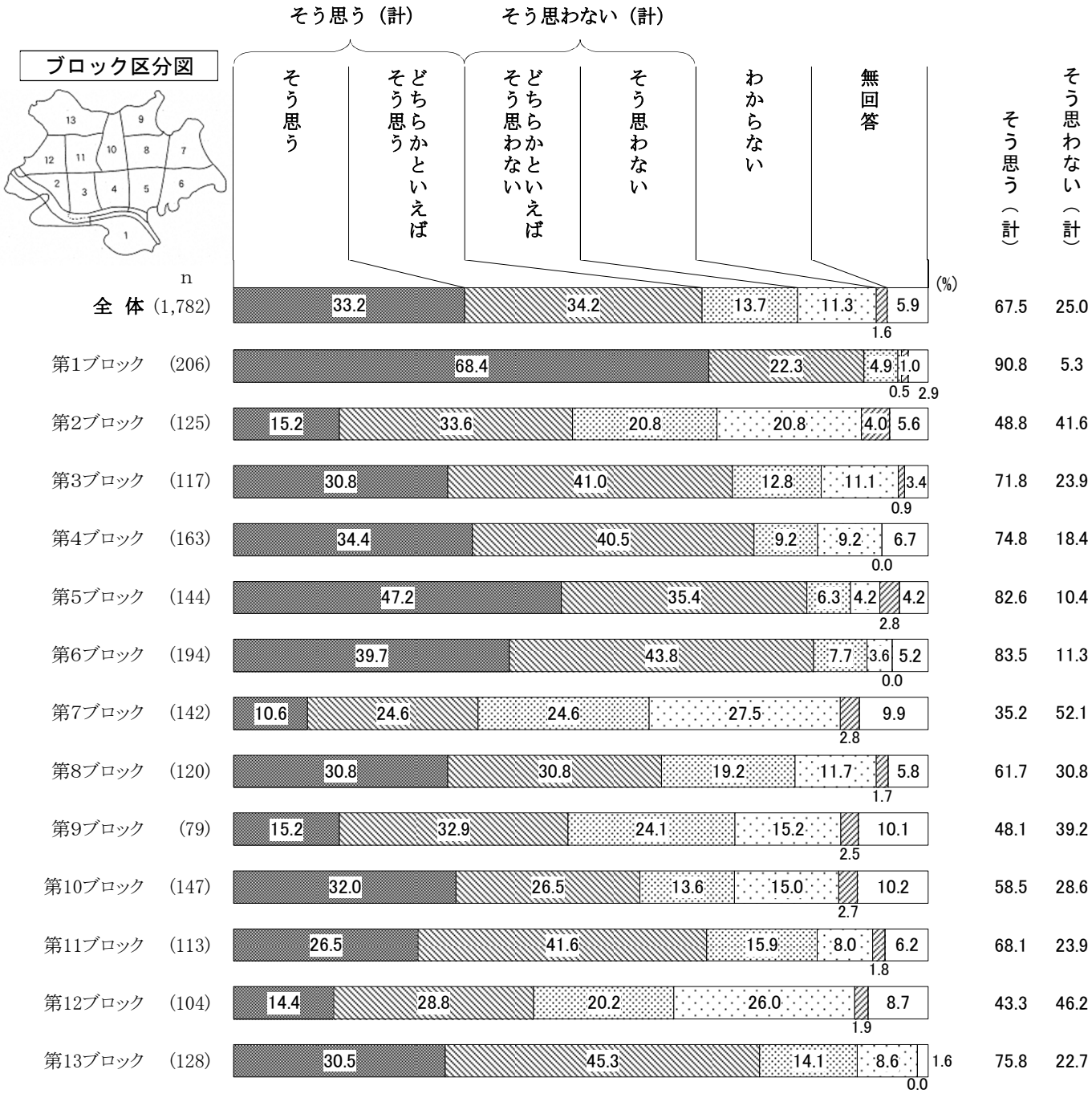
住んでいる地域について感じていることを、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う】の高い順でみると、〈普段の買い物が便利である〉が74.7%で最も高く、以下〈通勤や通学なと交通の便がよい〉67.5%、〈子育て環境（保育所、学童クラブなど）が整っている〉46.5%の順となっている。

経年で比較すると、今回の調査では、８項目のうち３項目で【そう思う】が平成27年調査に比べて微増しているが、他の項目はやや減少する傾向にある。

次に、各項目について、地域ブロック別でみた。

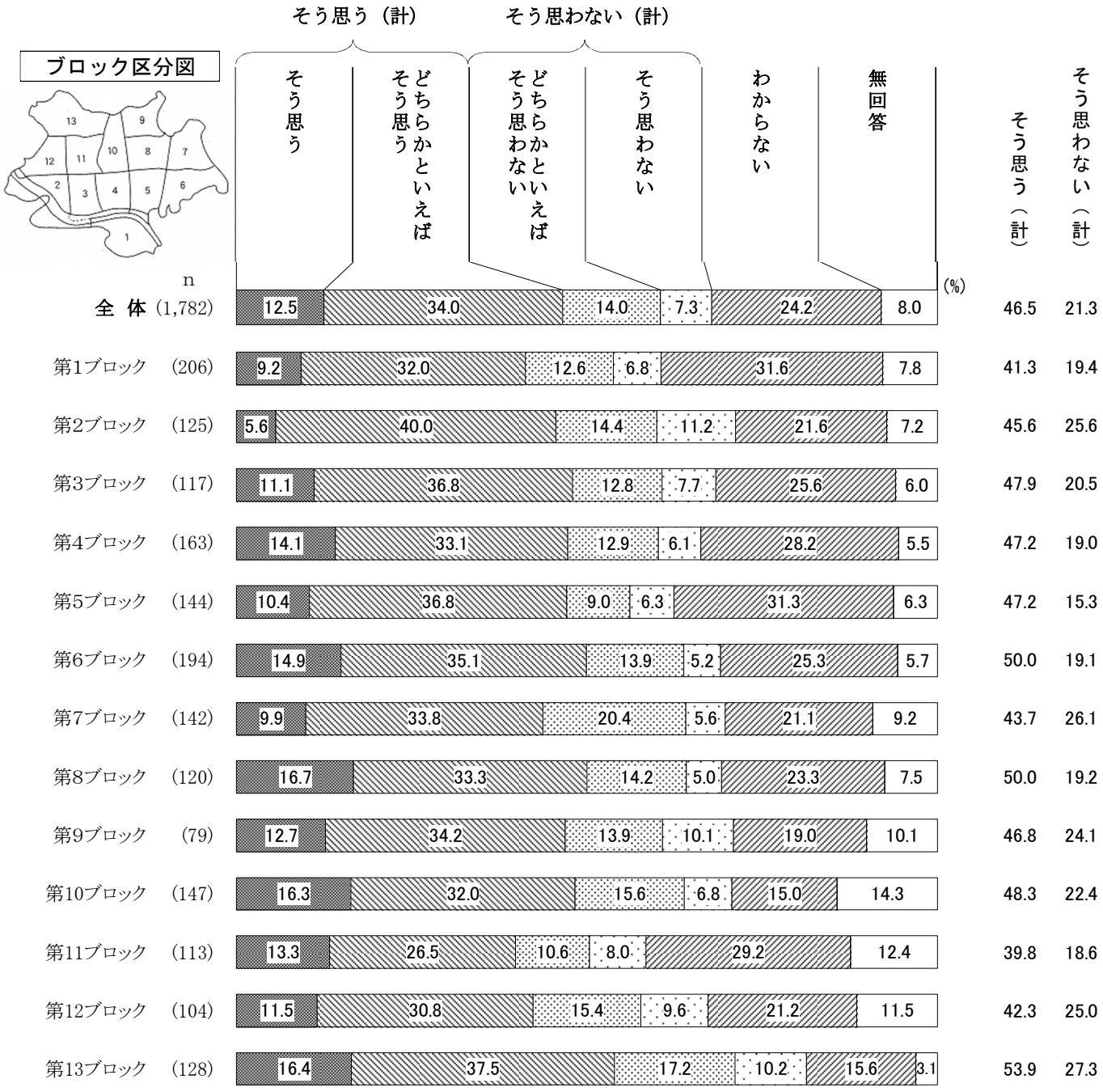
〈通勤や通学などの交通の便がよい〉について、【そう思う】は第１ブロックが90.8％と最も高く、次いで第６ブロックが83.5％となっている。【そう思わない】は、第７ブロックで52.1％と高く、これに第12ブロックが46.2％で次いでいる。

図１－１－２－①　地域ブロック別／居住地域の評価／通勤や通学などの交通の便がよい



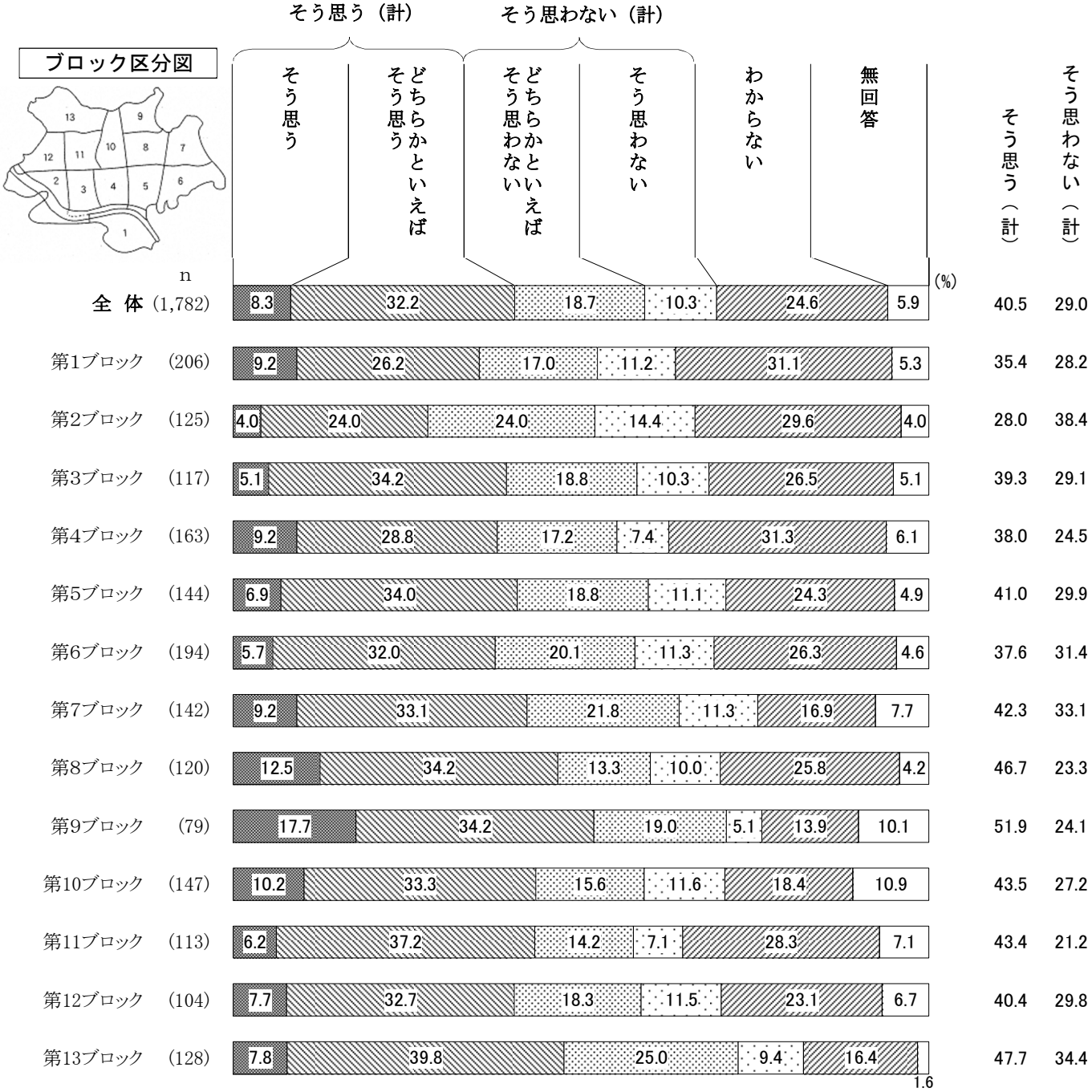
〈子育て環境（保育所、学童クラブなど）が整っている〉について、【そう思う】は第６ブロック、第８ブロック、第13ブロックでは、いずれも５割台前半となっている。【そう思わない】は、第２ブロック、第７ブロック、第９ブロック、第12ブロック、第13ブロックで、２割台半ばと、やや高くなっている。

図１－１－２－②　地域ブロック別／居住地域の評価／子育て環境が整っている



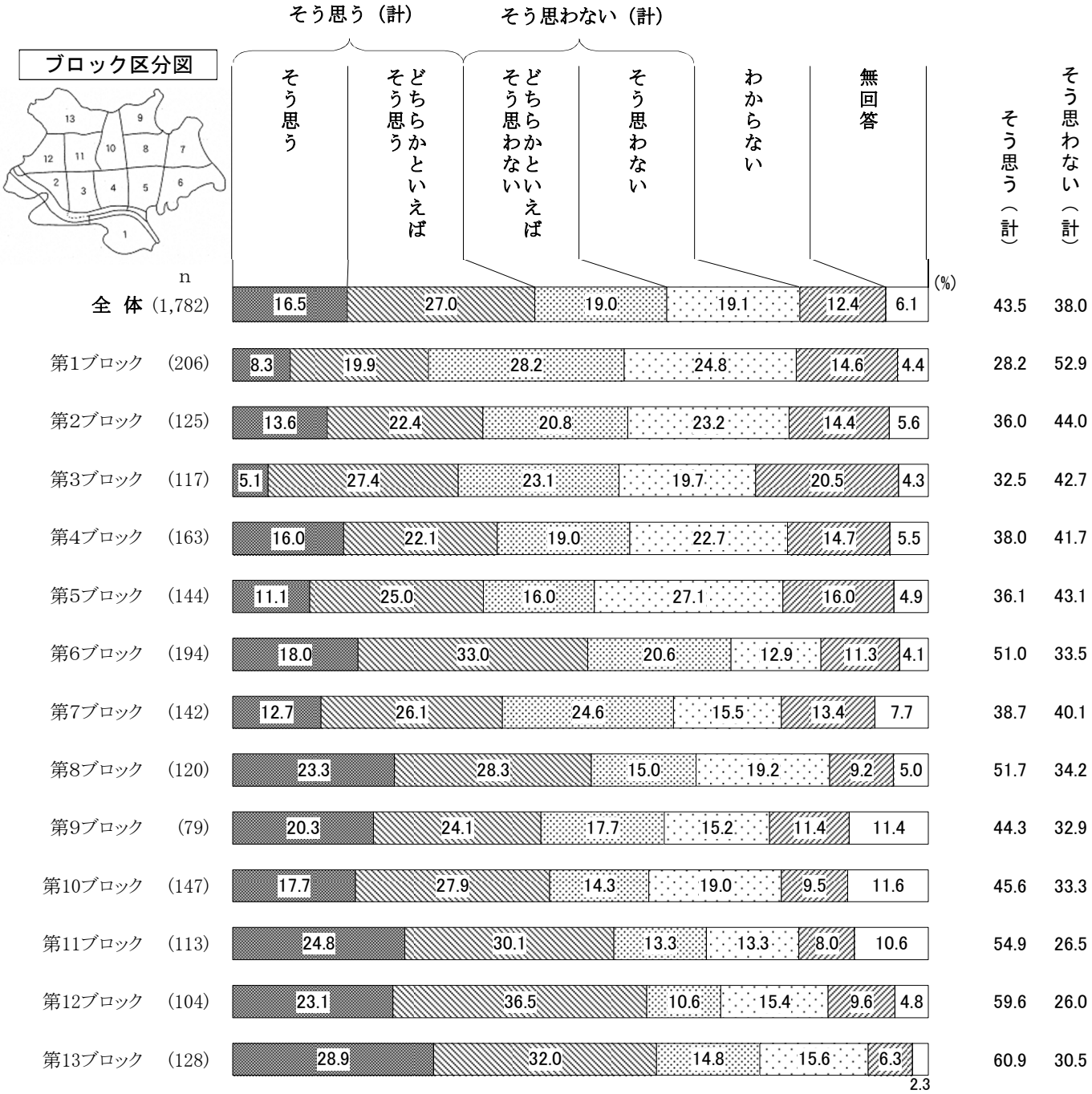
〈地域の施設は、高齢者や障がいのある方なども利用しやすいよう配慮されている〉について【そう思う】は、第９ブロックが51.9%で最も高く、次いで第13ブロックが47.7%となっている。【そう思わない】は、第２ブロックで38.4%と最も高くなっている。

図１－１－２－③　地域ブロック別／居住地域の評価
／地域の施設は、高齢者や障がいのある方なども利用しやすいよう配慮されている



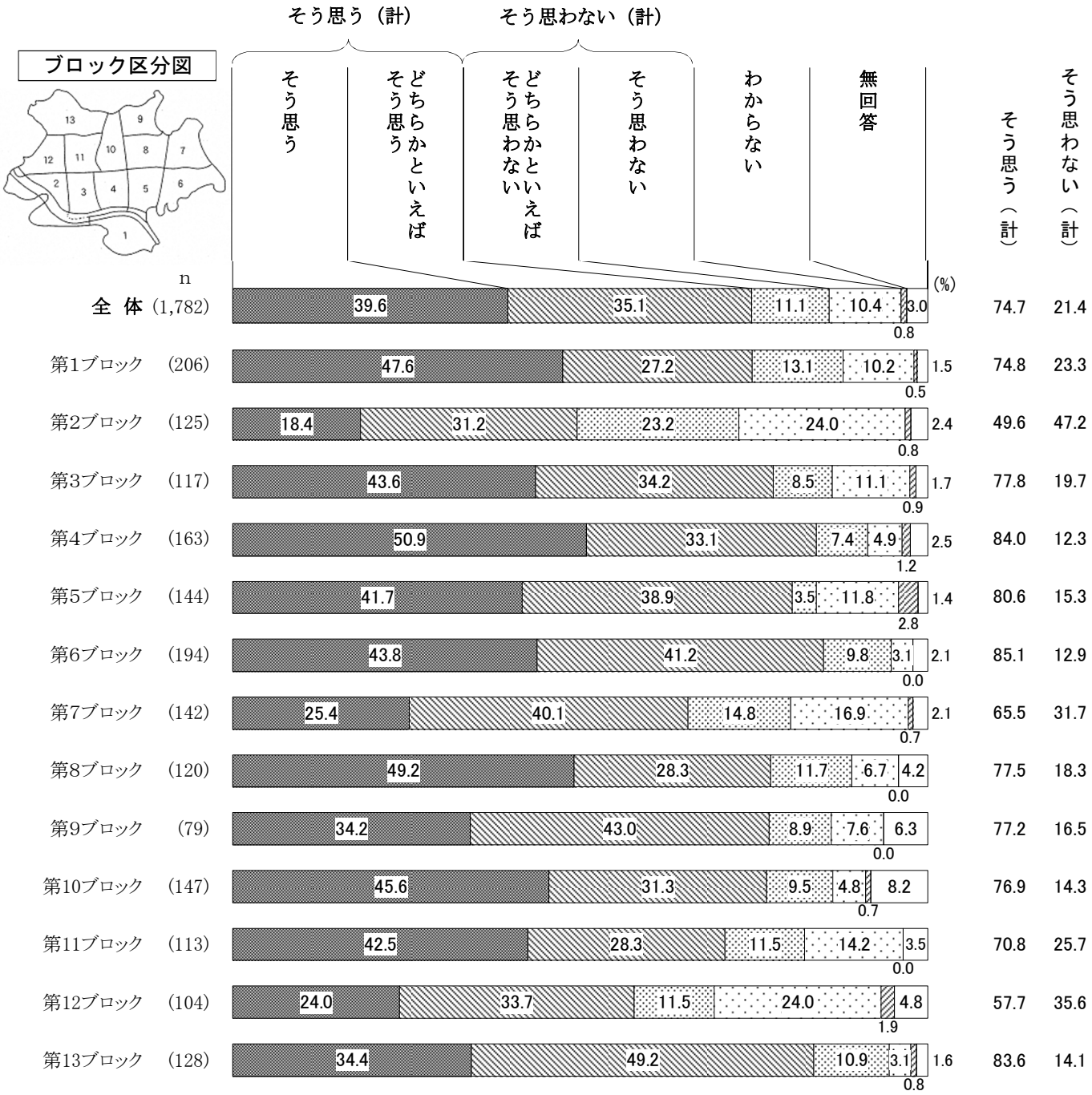
〈よく行く、または行きたい公園がある〉について【そう思う】は第12ブロック、第13ブロックで、いずれも６割前後を占めて、他の地区より高くなっている。【そう思わない】は、第１ブロックで52.9%と、他の地区より高くなっている。

図１－１－２－④　地域ブロック別／居住地域の評価／よく行く、または行きたい公園がある



〈普段の買い物が便利である〉について【そう思う】は、第６ブロックが85.1％で最も高く、以下、第４ブロックが84.0％、第13ブロックが83.6％で続いている。【そう思わない】は、第２ブロックで47.2％と最も高く、次いで第12ブロックが35.6％となっている。

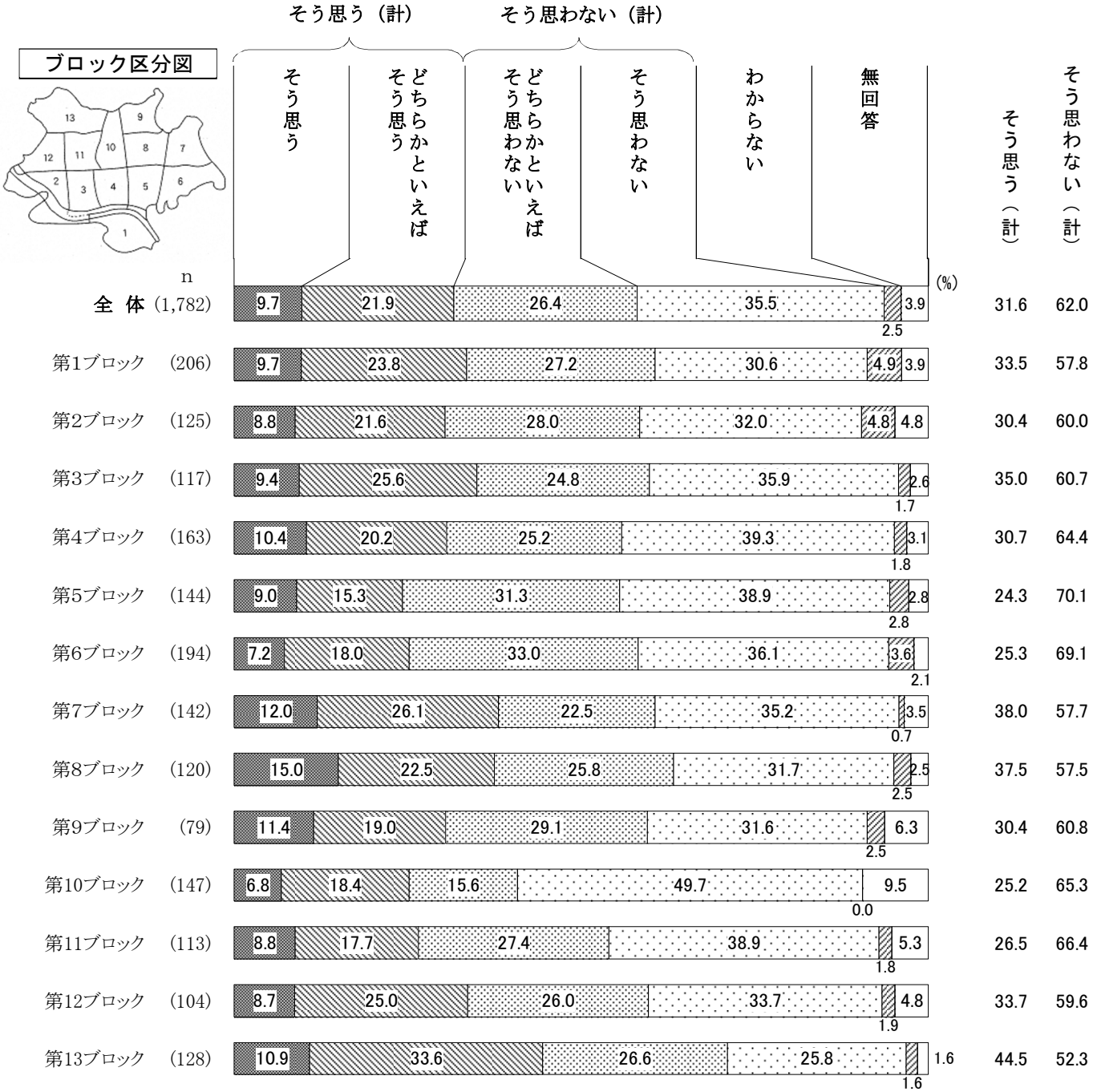
図１－１－２－⑤　地域ブロック別／居住地域の評価／普段の買い物が便利である



〈自転車、歩行者は交通ルール、交通マナーをよく守っている〉について【そう思う】は、第13ブロックで44.5%と、他のブロックに比べて高くなっている。【そう思わない】は、第５ブロックで70.1%と高くなっているほか、第２ブロックから第４ブロック、第６ブロック、第９ブロックから第11ブロックでも６割以上となっている。

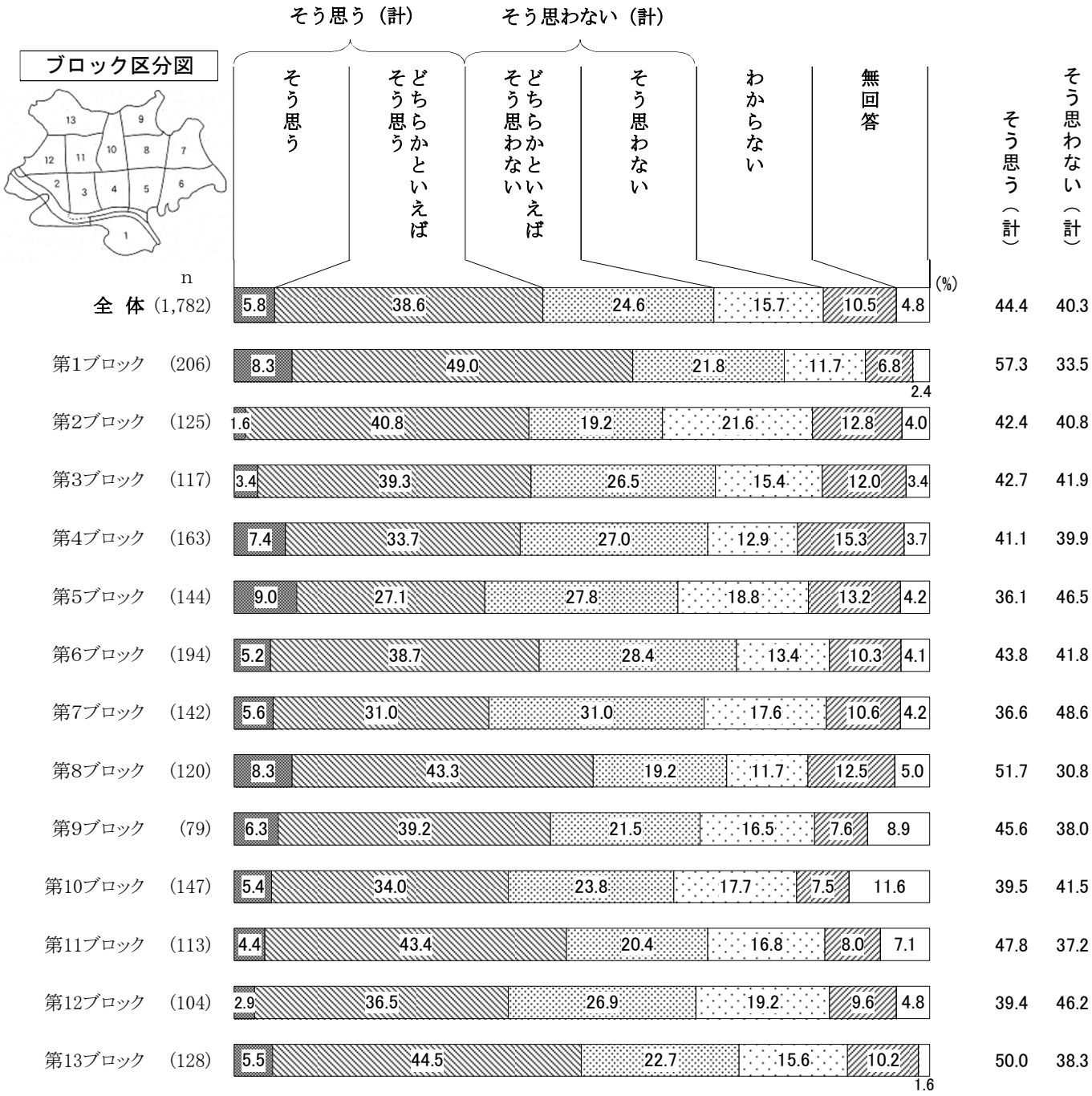
図１－１－２－⑥　地域ブロック別／居住地域の評価

／自転車、歩行者は交通ルール、交通マナーをよく守っている



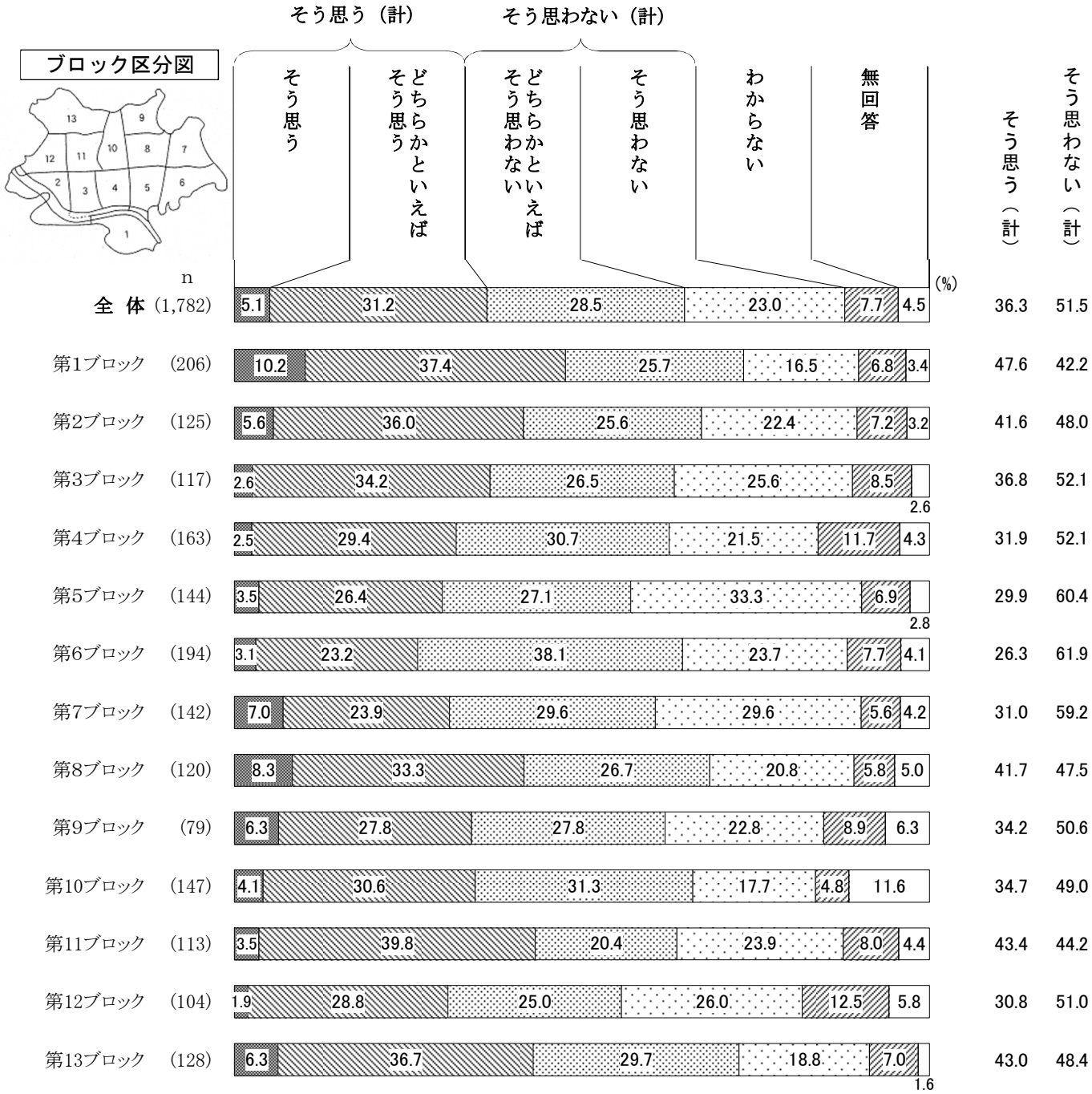
〈快適で安全なまちづくりが進められている〉について、【そう思う】は、第１ブロックで57.3%と高くなっているほか、第８ブロック、第13ブロックでも５割台となっている。【そう思わない】は、第５ブロック、第７ブロック、第12ブロックで４割台半ばを超えている。

図１－１－２－⑦　地域ブロック別／居住地域の評価／快適で安全なまちづくりが進められている



〈景観・町並みが魅力的になってきている〉について、【そう思わない】は、第５ブロック、第６ブロックで、それぞれ60.4%、61.9%と６割を超えている。【そう思う】は、第１ブロック、第２ブロック、第８ブロック、第11ブロック、第13ブロックで４割を超えている。

図１－１－２－⑧　地域ブロック別／居住地域の評価／景観・街並みが魅力的になってきている



（２）居住地域評価の経年比較

■　〈ペットのふん〉が【減っている】と感じている人は５割を超える

問２　あなたのお住まいの地域についてうかがいます。以下のア～エの項目について、現在は以前と比べてどのようにお感じになっていますか（○はそれぞれ１つずつ）。

図１－２－１－①　経年比較／居住地域評価

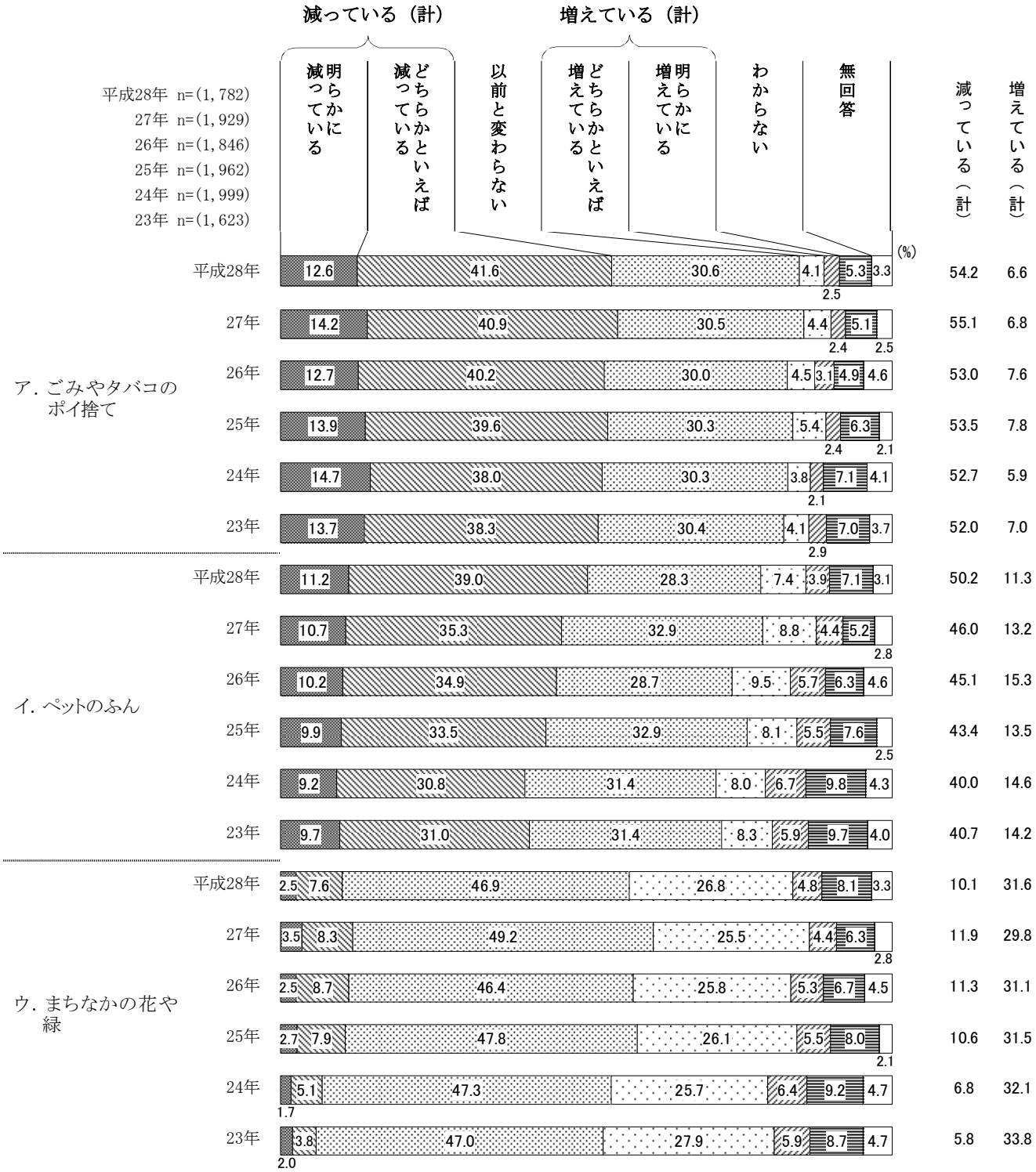
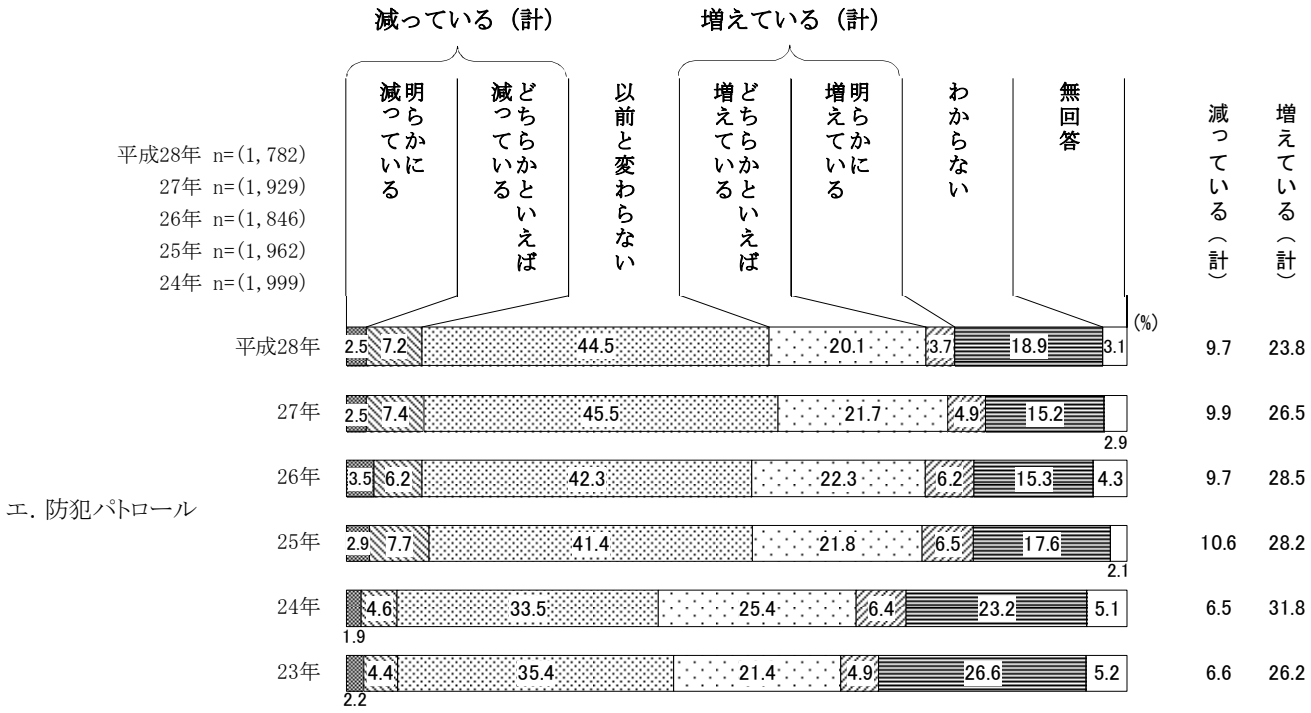


図１－２－１－②　経年比較／居住地域評価



エ. 防犯パトロール

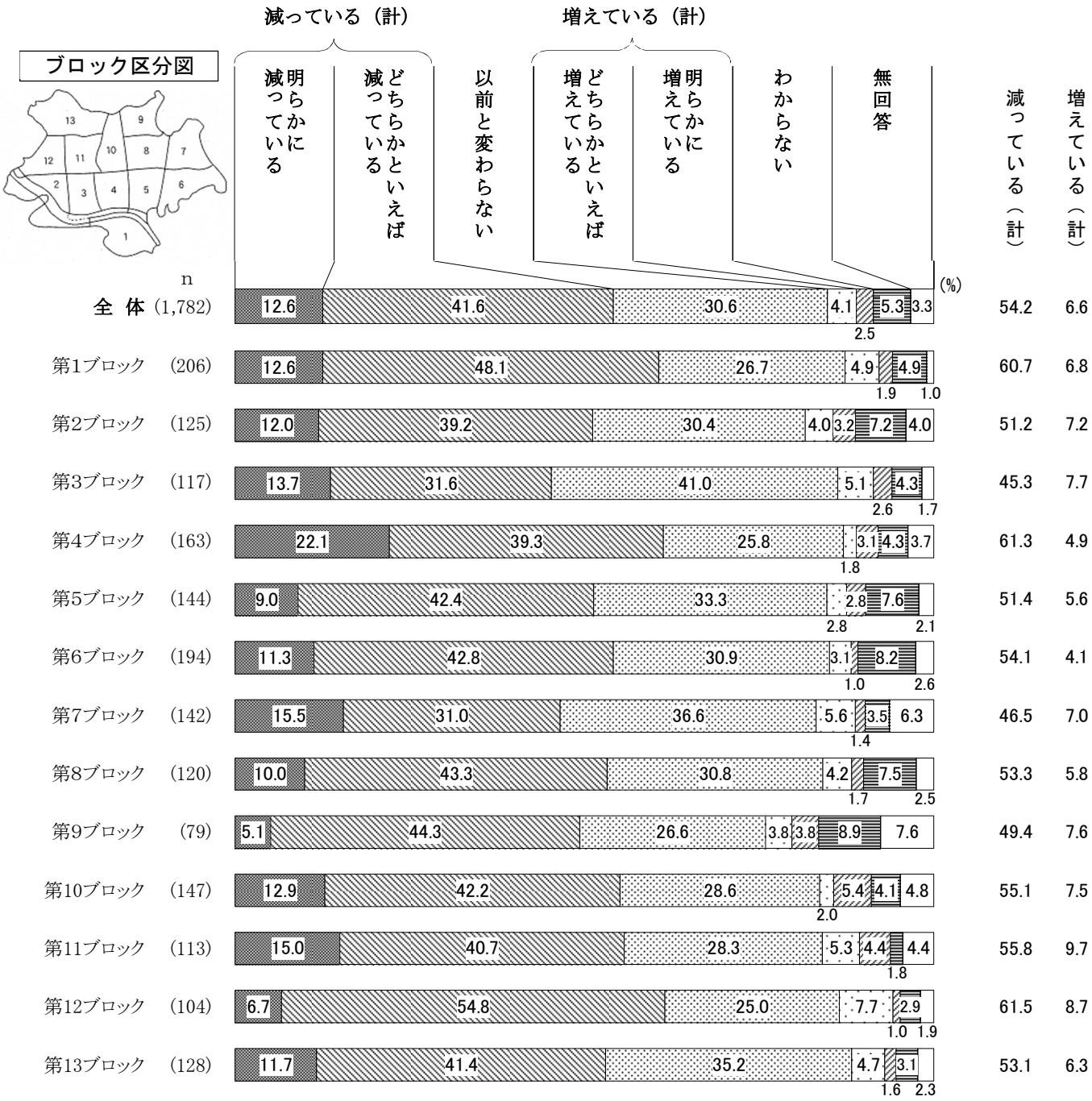
お住まいの地域の状況について、「明らかに減っている」と「どちらかといえば減っている」を合わせた【減っている】の高い順にみると、〈ごみやタバコのポイ捨て〉が54.2％で最も高く、次いで〈ペットのふん〉の50.2％となっている。一方、〈まちなかの花や緑〉、〈防犯パトロール〉については、いずれも「明らかに増えている」と「どちらかといえば増えている」を合わせた【増えている】が、それぞれ31.6％、23.8％と高くなっている。

経年で比較すると、〈ペットのふん〉について、【減っている】が今回50.2％と、平成27年の46.0％より4.2ポイント増加している。一方、〈まちなかの花や緑〉は【増えている】が微増、〈防犯パトロール〉については、【増えている】が微減している。

各項目について、地域ブロック別でみた。

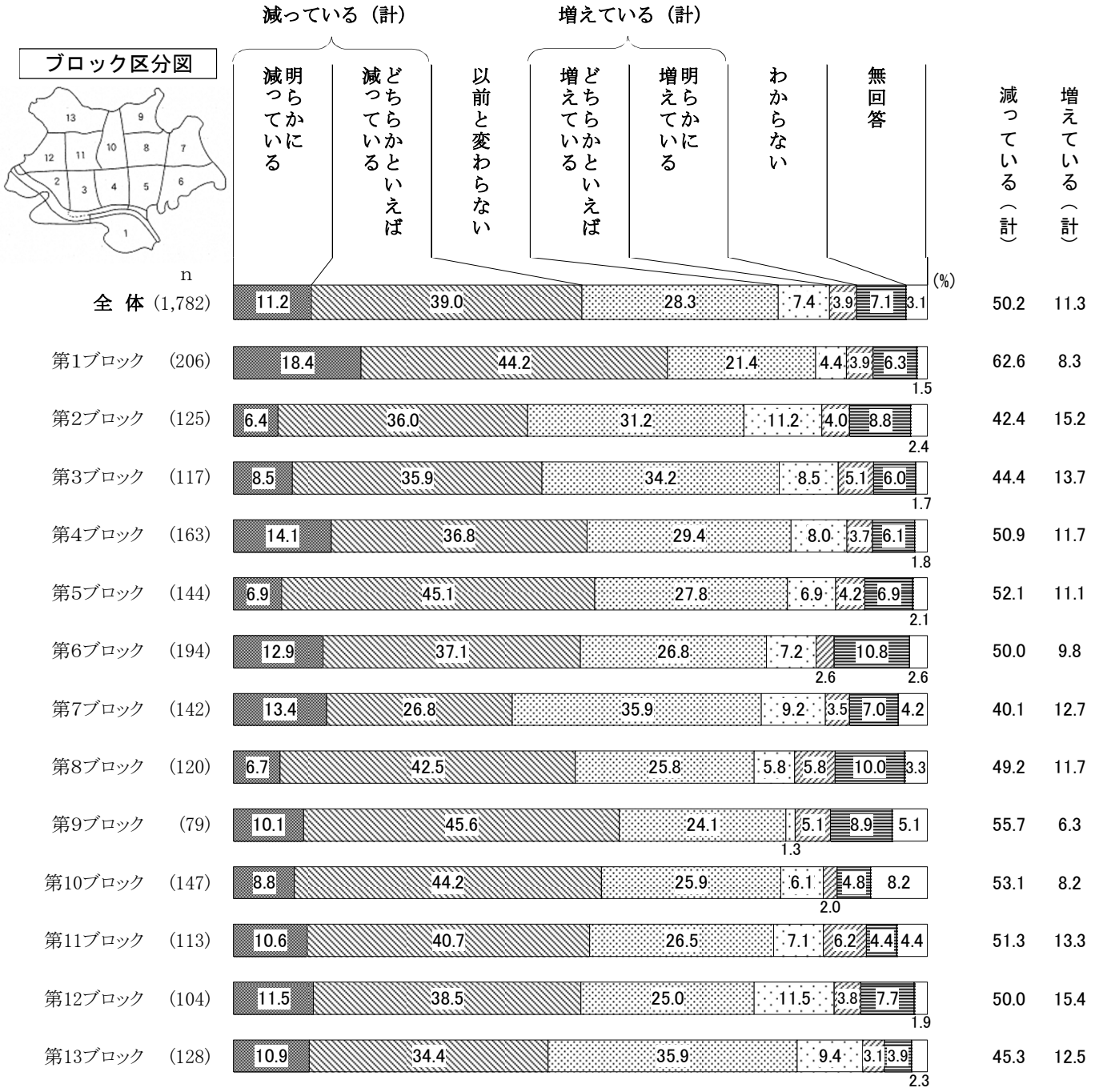
〈ごみやタバコのポイ捨て〉について、【減っている】は、第１ブロック、第４ブロック、第12ブロックで６割を超えている。【増えている】は、いずれのブロックでも１割以下に留まっている。

図１－２－２－①　地域ブロック別／ごみやタバコのポイ捨て



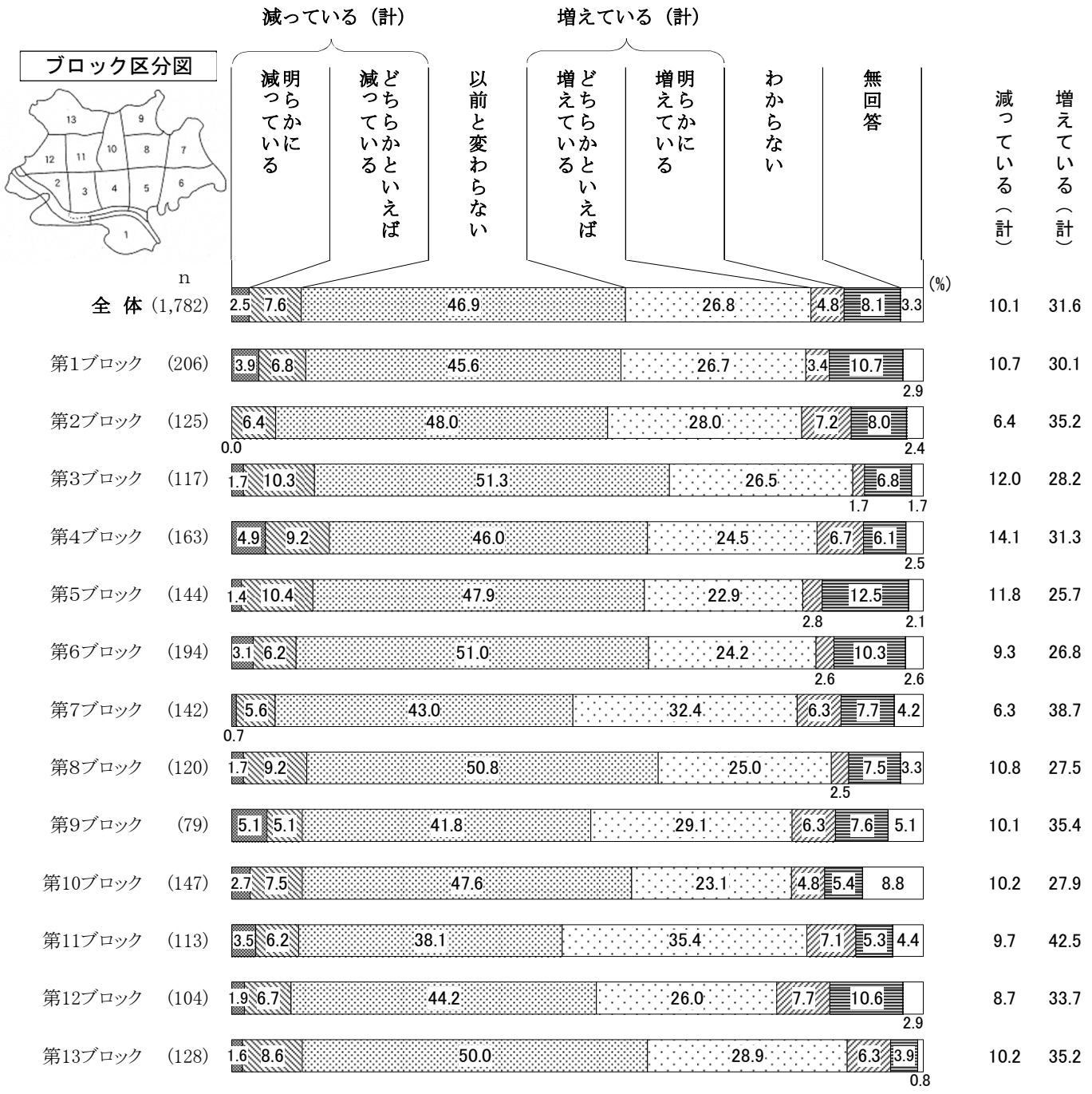
〈ペットのふん〉について、【減っている】は、第１ブロックで62.6％と高くなっているほか、第４ブロックから第６ブロック、第９ブロックから第12ブロックでも５割台となっている。【増えている】は、いずれのブロックでも２割以下となっている。

図１－２－２－②　地域ブロック別／ペットのふん



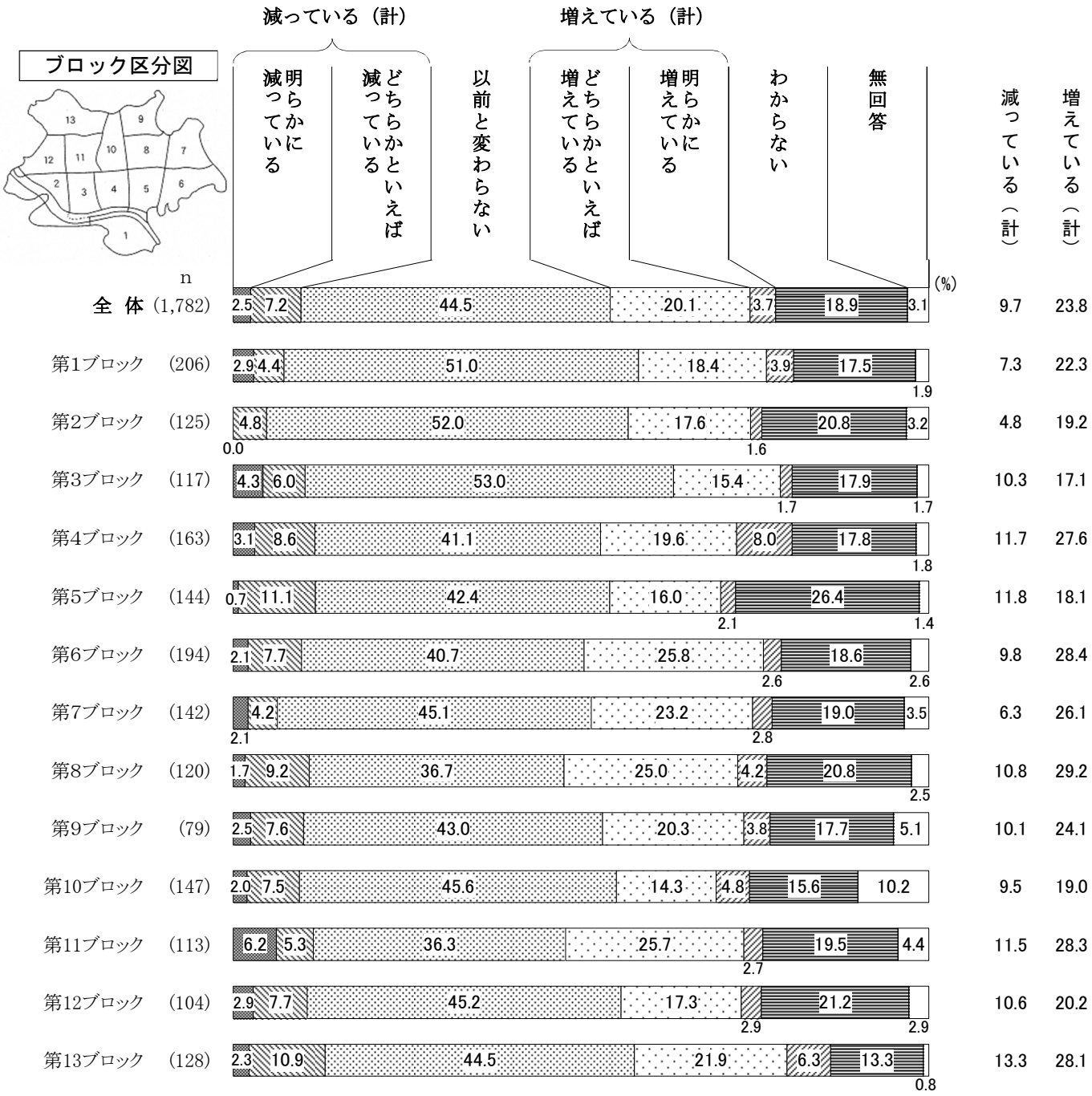
〈まちなかの花や緑〉について、【増えている】は、第11ブロックで42.5％と最も高く、以下、第７ブロック（38.7％）、第９ブロック（35.4％）の順となっている。【減っている】については、いずれのブロックとも２割以下となっている。

図１－２－２－③　地域ブロック別／まちなかの花や緑



〈防犯パトロール〉について、【増えている】は、第６ブロック、第８ブロック、第11ブロック、第13ブロックで３割近くとなっている。【減っている】は、いずれのブロックでも１割台半ばから１割未満となっている。

図１－２－２－④　地域ブロック別／防犯パトロール

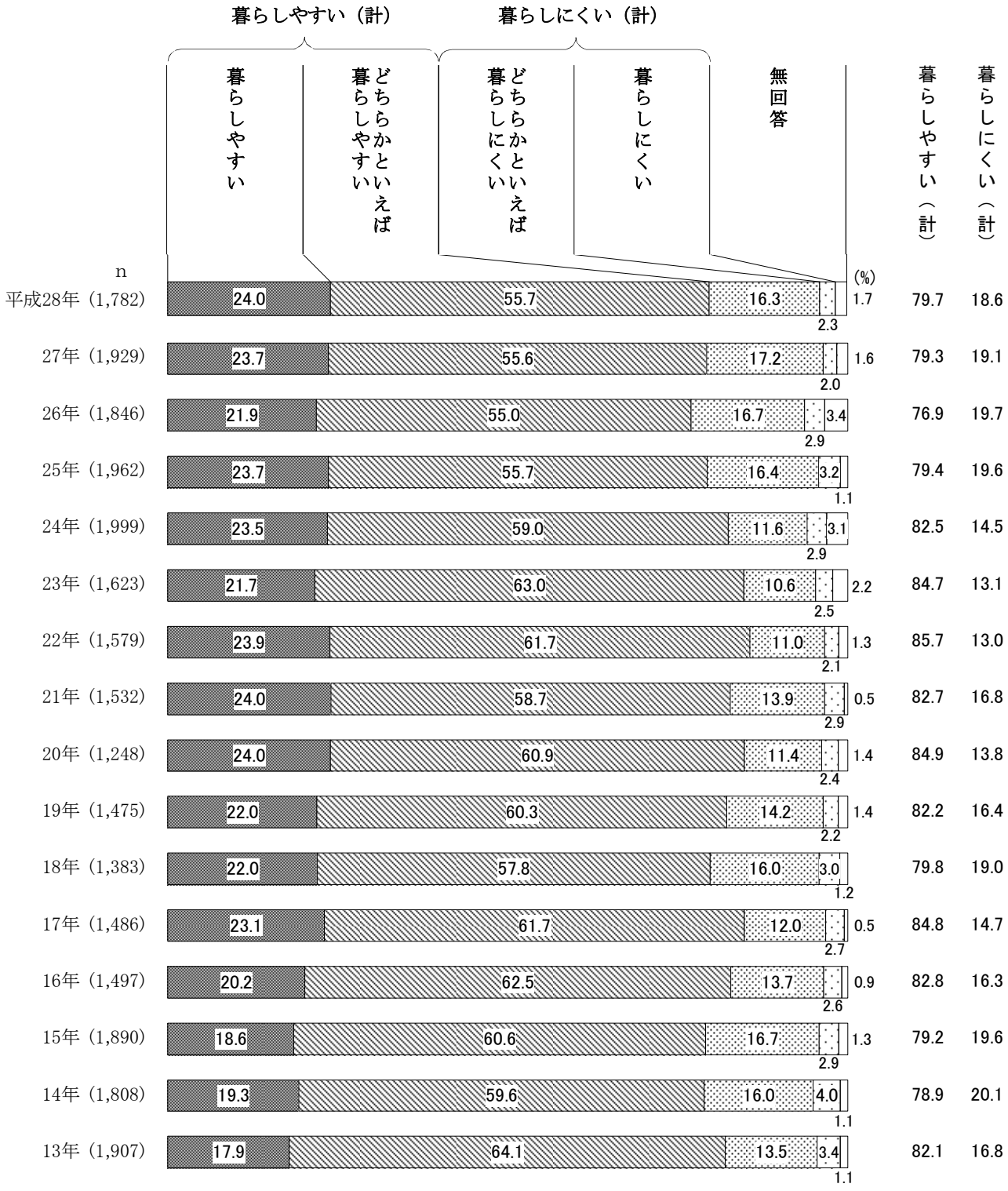


（３）地域の暮らしやすさ

■ 【暮らしやすい】は、昨年とほぼ同じの約８割

問３　問１、問２を踏まえてお聞きします。あなたは、あなたのお住まいの地域について、暮らしやすいと感じますか（○は１つだけ）。

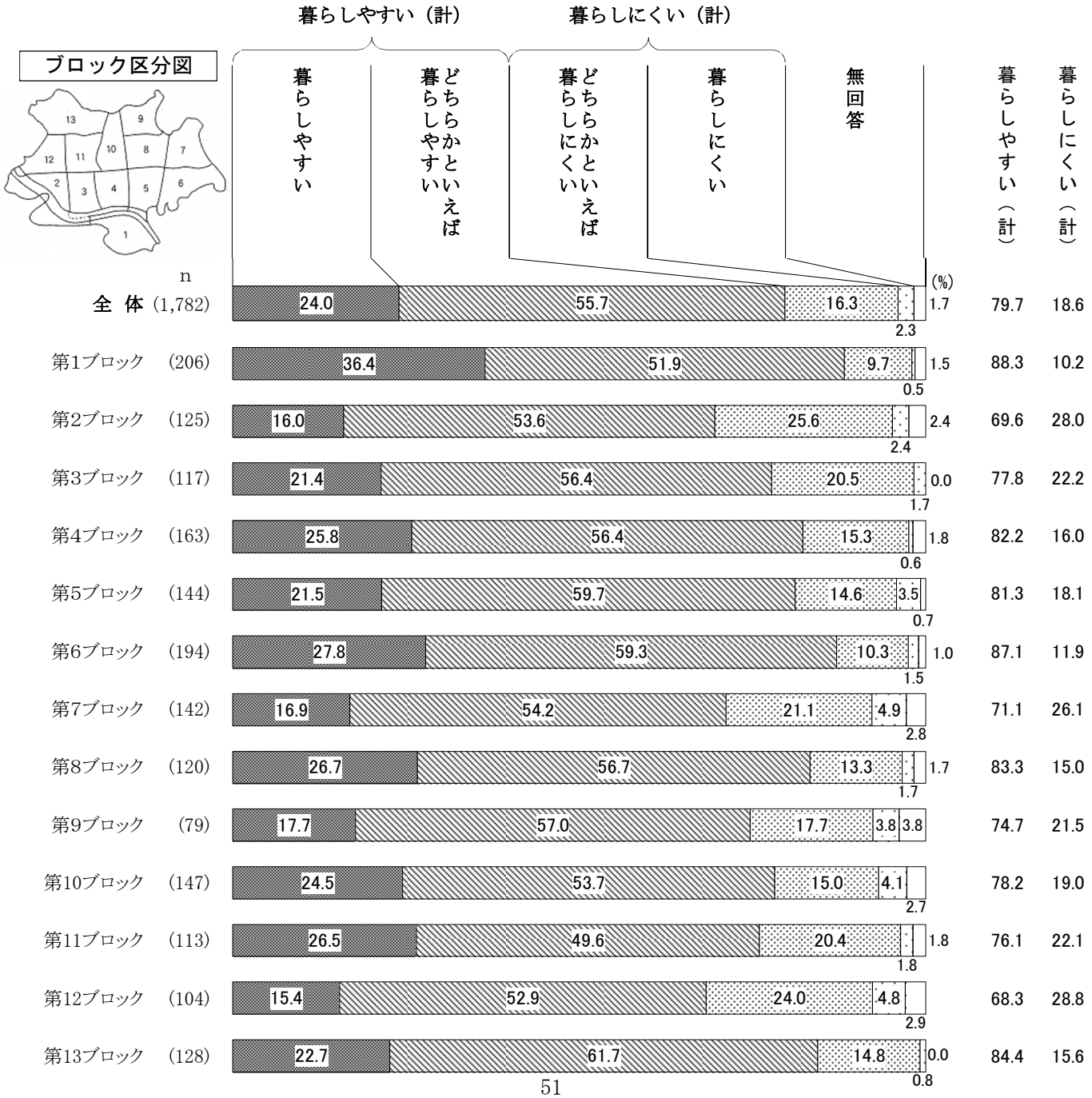
図１－３－１　経年比較／地域の暮らしやすさ



暮しやすさを経年で比較すると、「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせた【暮しやすい】は、平成22年の85.7％を頂点として微減傾向にあったが、平成27年調査で79.3％と増加に転じ、今回調査でも79.7％と僅かながら増加している。一方、「どちらかといえば暮らしにくい」と「暮らしにくい」を合わせた【暮らしにくい】は、今回の調査では18.6％と、平成26年以降微減傾向を示している。

地域ブロック別でみると、【暮らしやすい】は、第１ブロックで88.3％と最も高く、以下第６ブロック（87.1％）、第13ブロック（84.4％）の順となっている。一方、第２ブロック、第３ブロック、第７ブロック、第９ブロック、第11ブロック、第12ブロックでは、【暮らしにくい】が、いずれも２割を超え、他のブロックより高くなっている。

図１－３－２　地域ブロック別／地域の暮らしやすさ

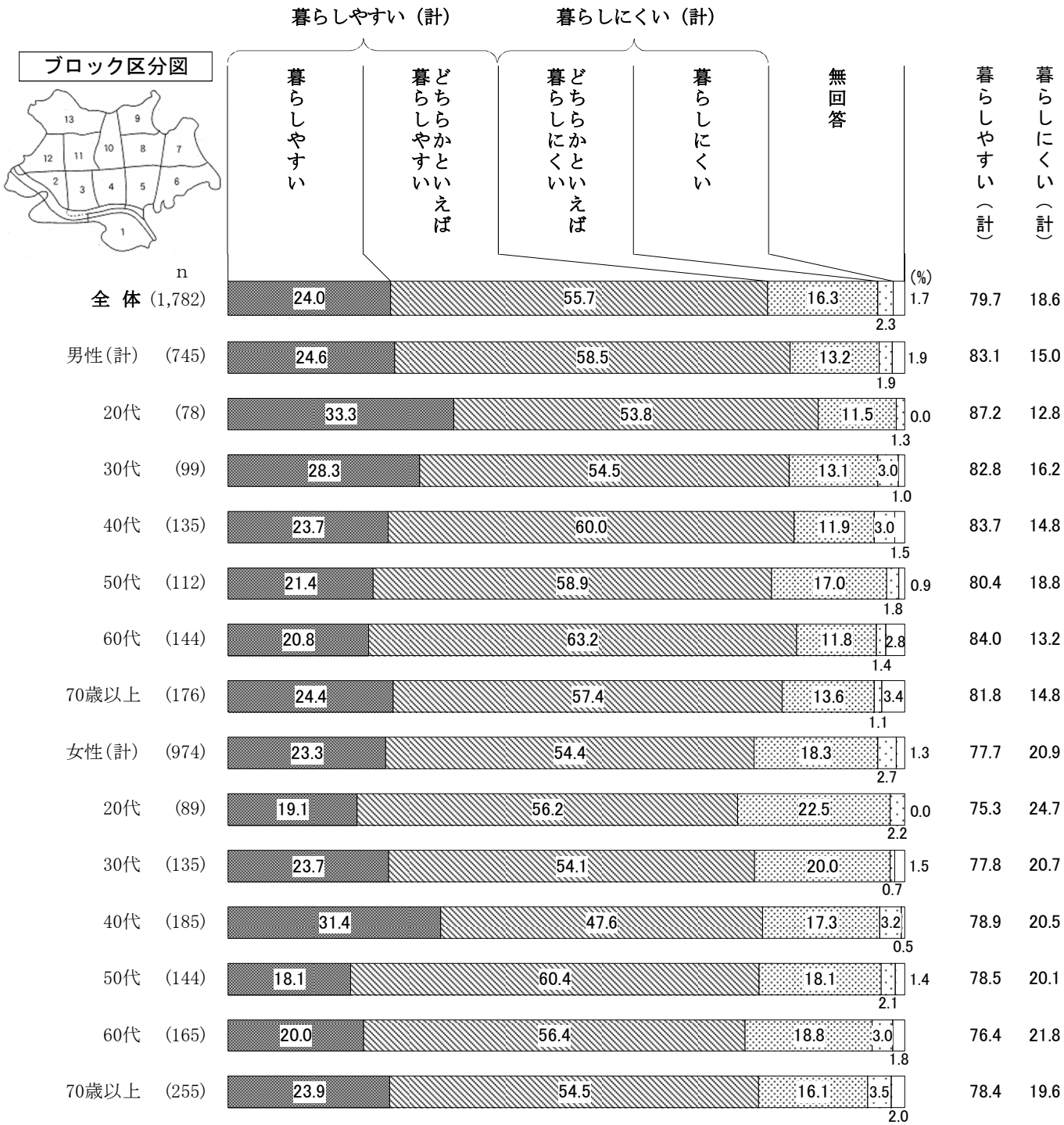


性別でみると、【暮らしやすい】は、男性83.1%、女性77.7%と、女性より男性が高くなっている。

性・年代別でみると、男性では、全年代で【暮らしやすい】が８割を超えている。

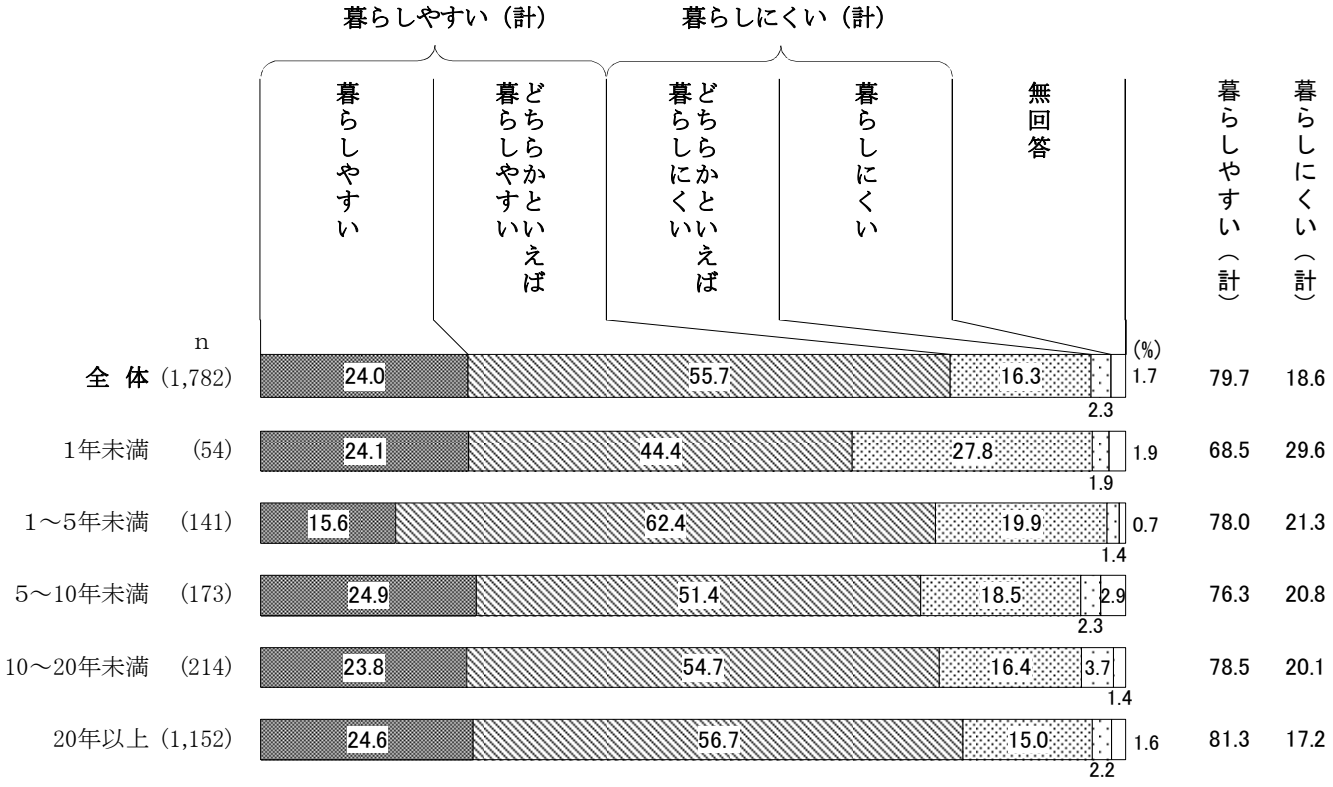
女性では、全年代で【暮らしやすい】が７割台半ばを超えている。

図１－３－３　性別、性・年代別／地域の暮らしやすさ



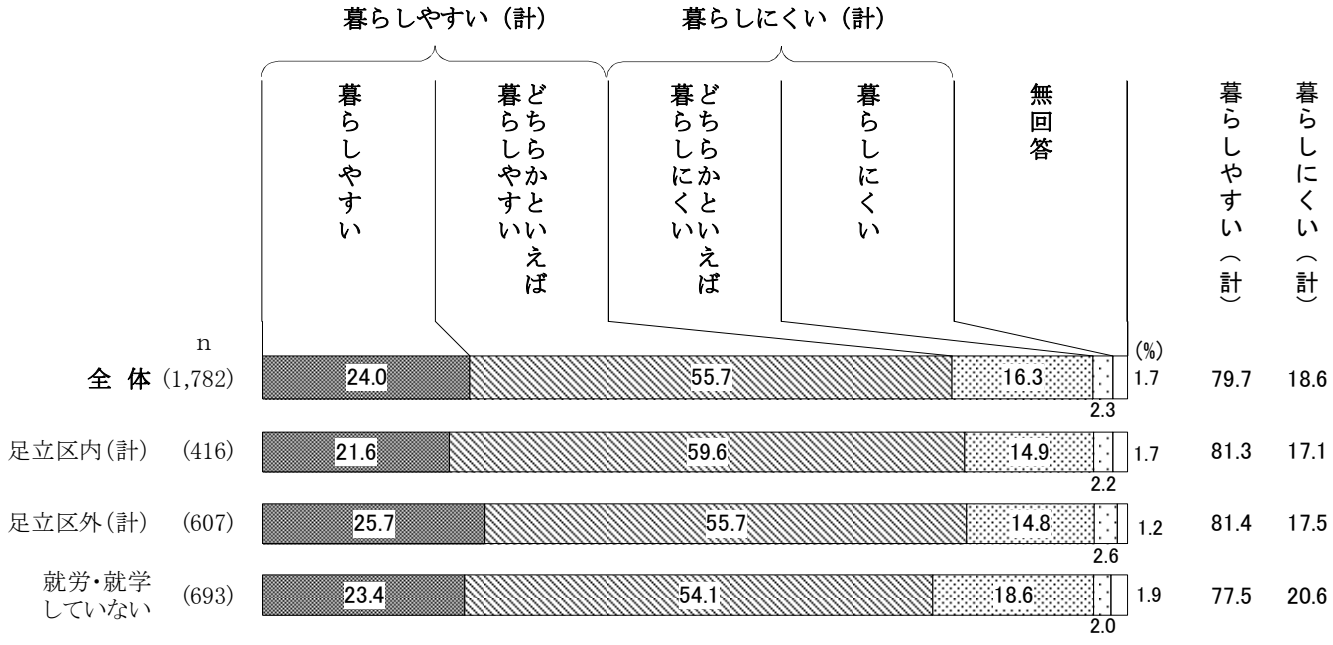
居住年数別でみると、【暮らしやすい】は、１年未満が６割台、１～20年未満で７割台となり、20年以上では81.3%を占め、年数が長くなるとともに増加傾向にある。

図１－３－４　居住年数別／地域の暮らしやすさ



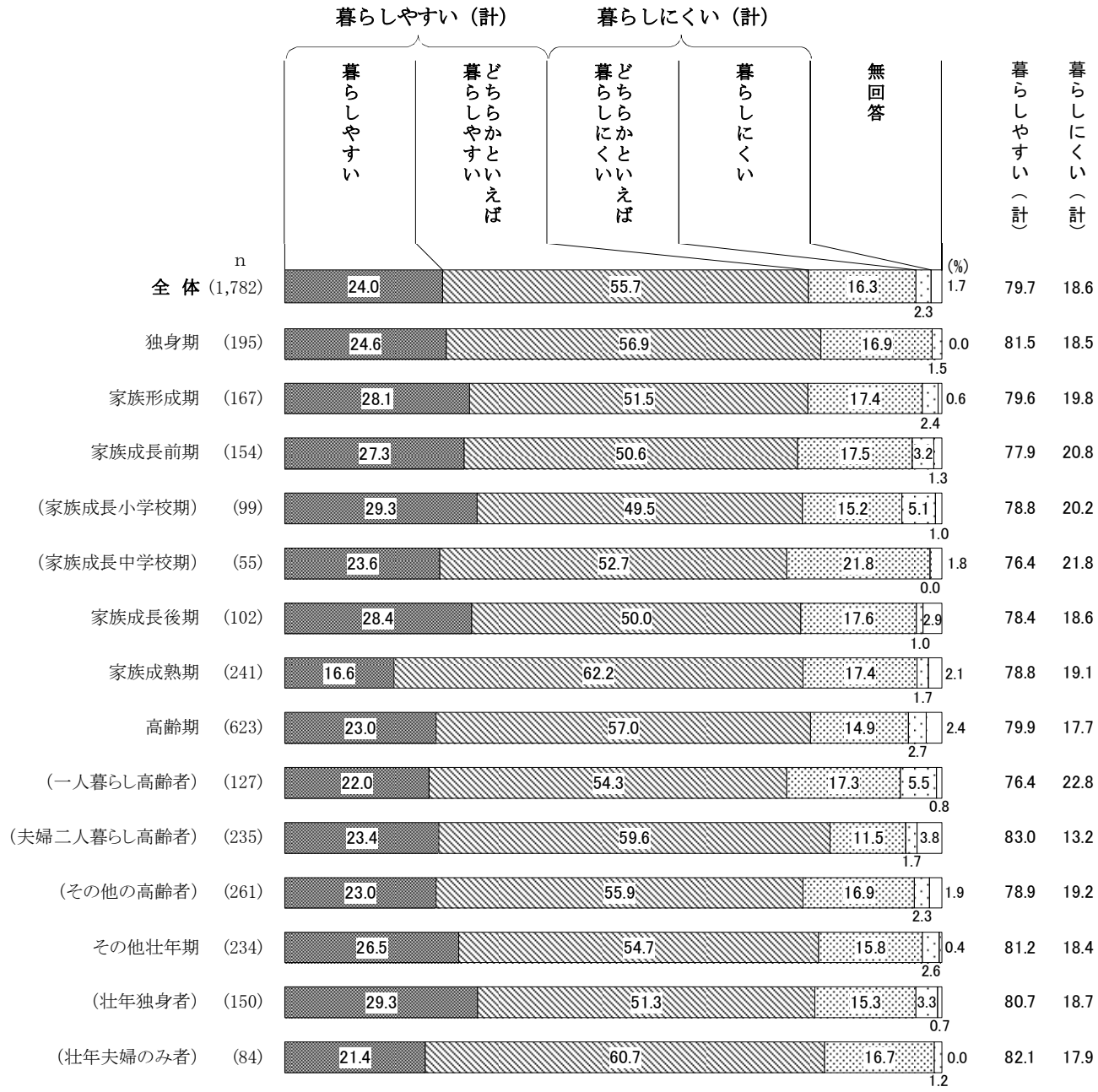
就労・就学場所別にみても、大きな差はみられない。

図１－３－５　就労・就学場所別／地域の暮らしやすさ



ライフステージ別でみると、ほぼすべてのステージで【暮らしやすい】が８割前後を占めている。

図１－３－６　ライフステージ別／地域の暮らしやすさ

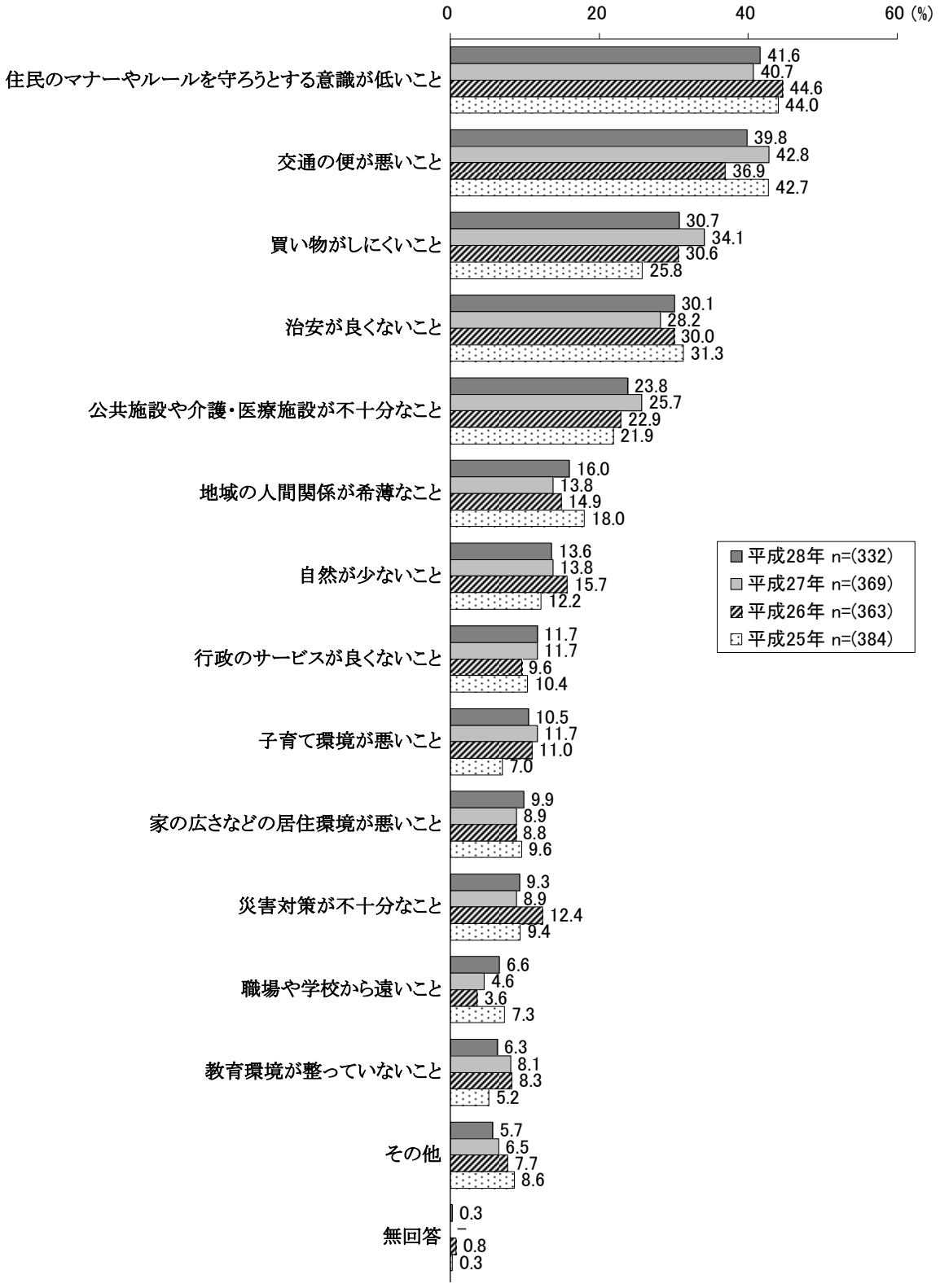


（４）特に暮らしにくいと感じること

■ “マナーやルールへの意識の低さ”“交通の便の悪さ”が４割前後

問３で「３．どちらかといえば暮らしにくい」、または「４．暮らしにくい」とお答えの方に
問３－１　特に暮らしにくいと感じることは何ですか（○は３つまで）。

図１－４－１　経年比較／特に暮らしにくいと感じること



【暮らしにくい】という人に、その理由を聞いたところ、「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」（41.6％）と「交通の便が悪いこと」（39.8％）の２項目が、いずれも４割前後を占め、とくに高くなっている。また、「買い物がしにくいこと」と「治安が良くないこと」についても、それぞれ30.7％、30.1％と高くなっている。

経年でみると、平成27年調査に比べて、「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」や「治安が良くないこと」が微増し、「交通の便が悪いこと」「買い物がしにくいこと」については微減している。

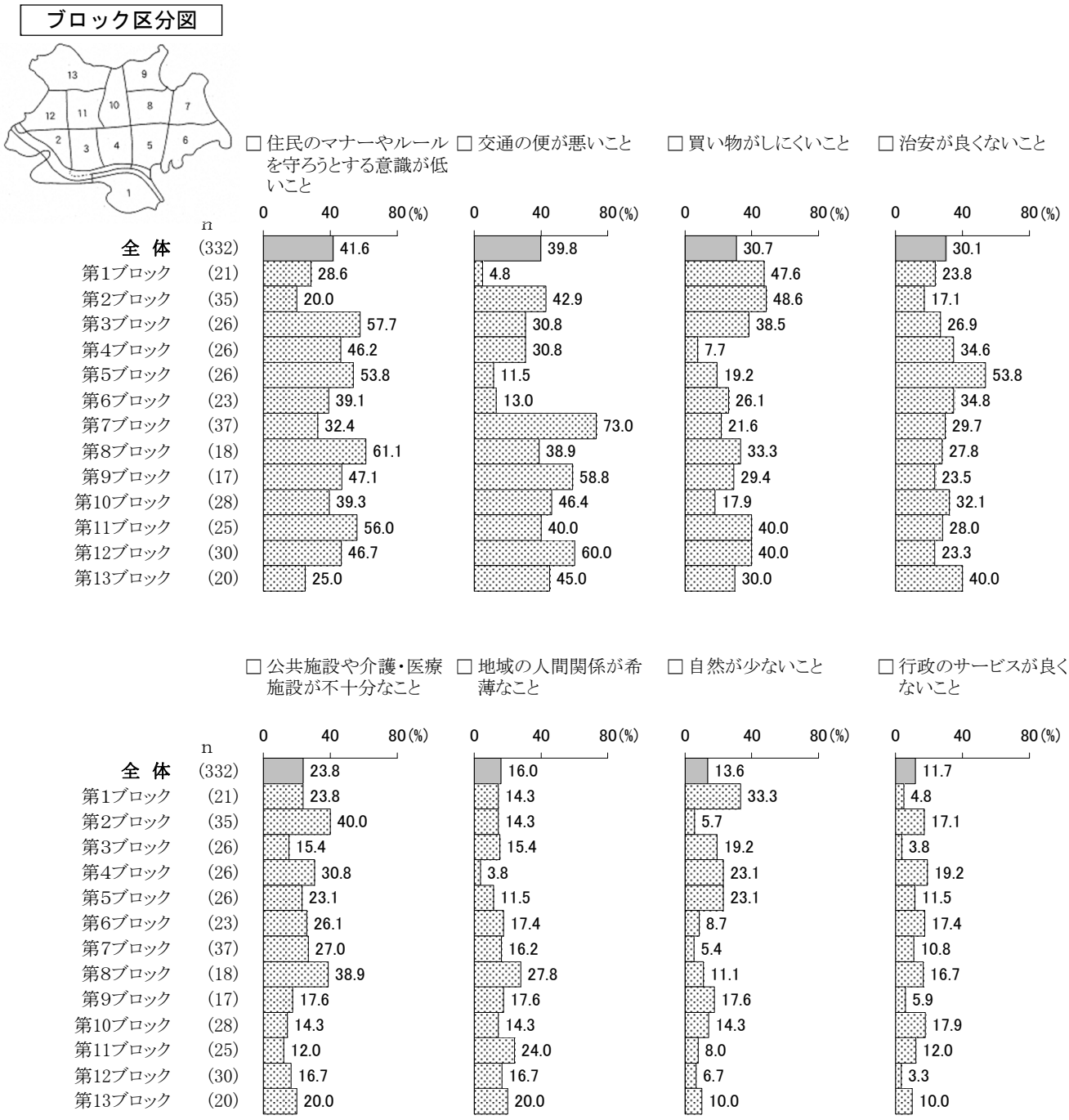
地域ブロック別でみると、「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」については、第８ブロックで61.1％と高くなっているほか、第３ブロック、第５ブロック、第11ブロックでも５割を超えている。

「交通の便が悪いこと」については、第７ブロックで73.0％と高くなっているほか、第９ブロック、第12ブロックでも６割前後を占めている。

また、「買い物がしにくいこと」については、第１ブロック、第２ブロックで、それぞれ47.6％、48.6％と５割近くを占めている。

さらに、「治安が良くないこと」については、第５ブロックで53.8％と、全ブロック中最も高くなっているほか、第13ブロックでも40.0％となっている。

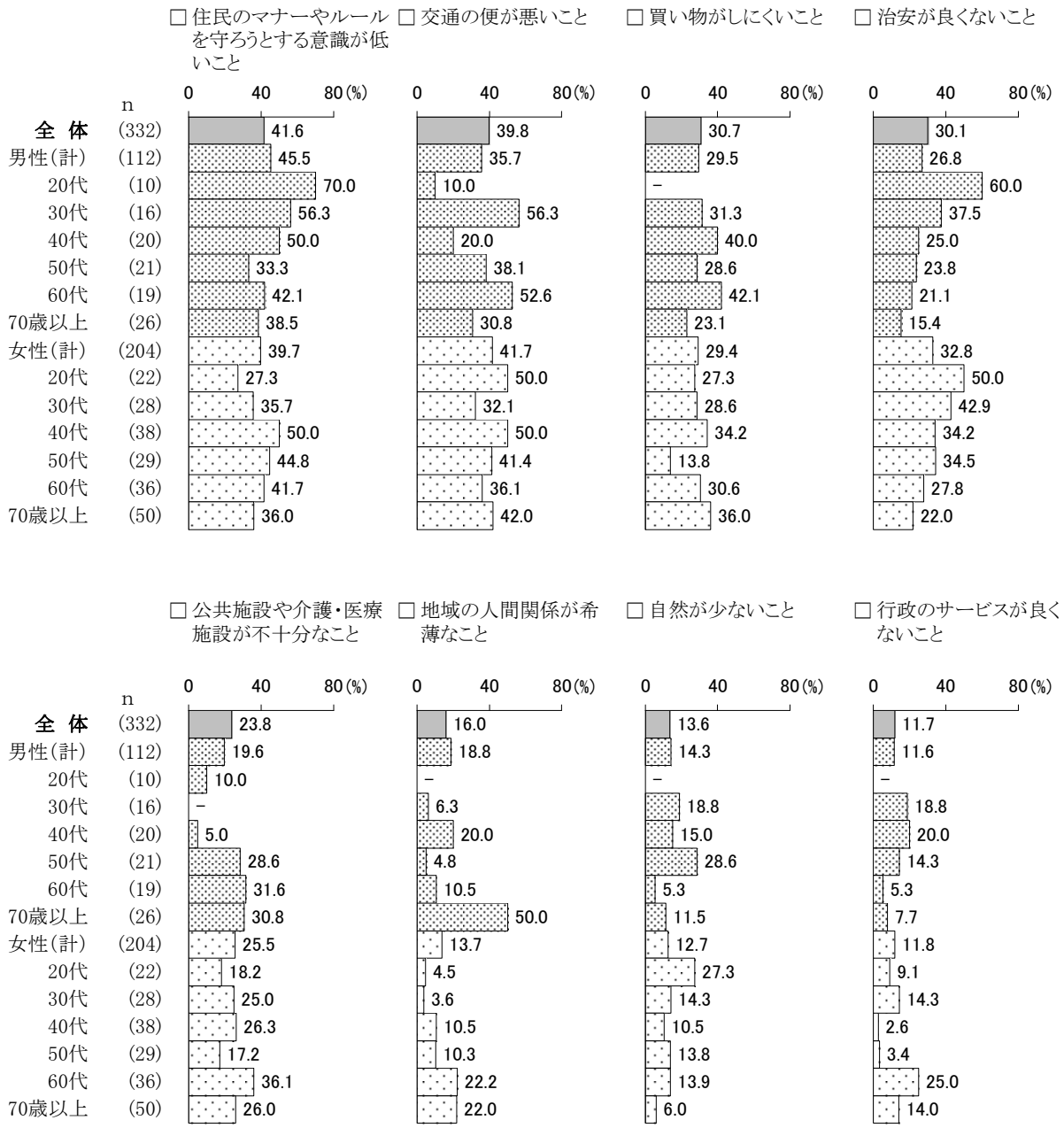
図１－４－２　地域ブロック別／特に暮らしにくいと感じること／上位８項目



性別でみると、男性では「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」が45.5％と、女性（39.7％）より高くなっている。一方、女性では「交通の便が悪いこと」が41.7％と、男性（35.7％）を上回っている。

性・年代別でみると、女性では「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」について、40代で50.0％と高くなっている。「交通の便が悪いこと」については、20代、40代で50.0％となっている。

図１－４－３　性別、性・年代別／特に暮らしにくいと感じること／上位８項目

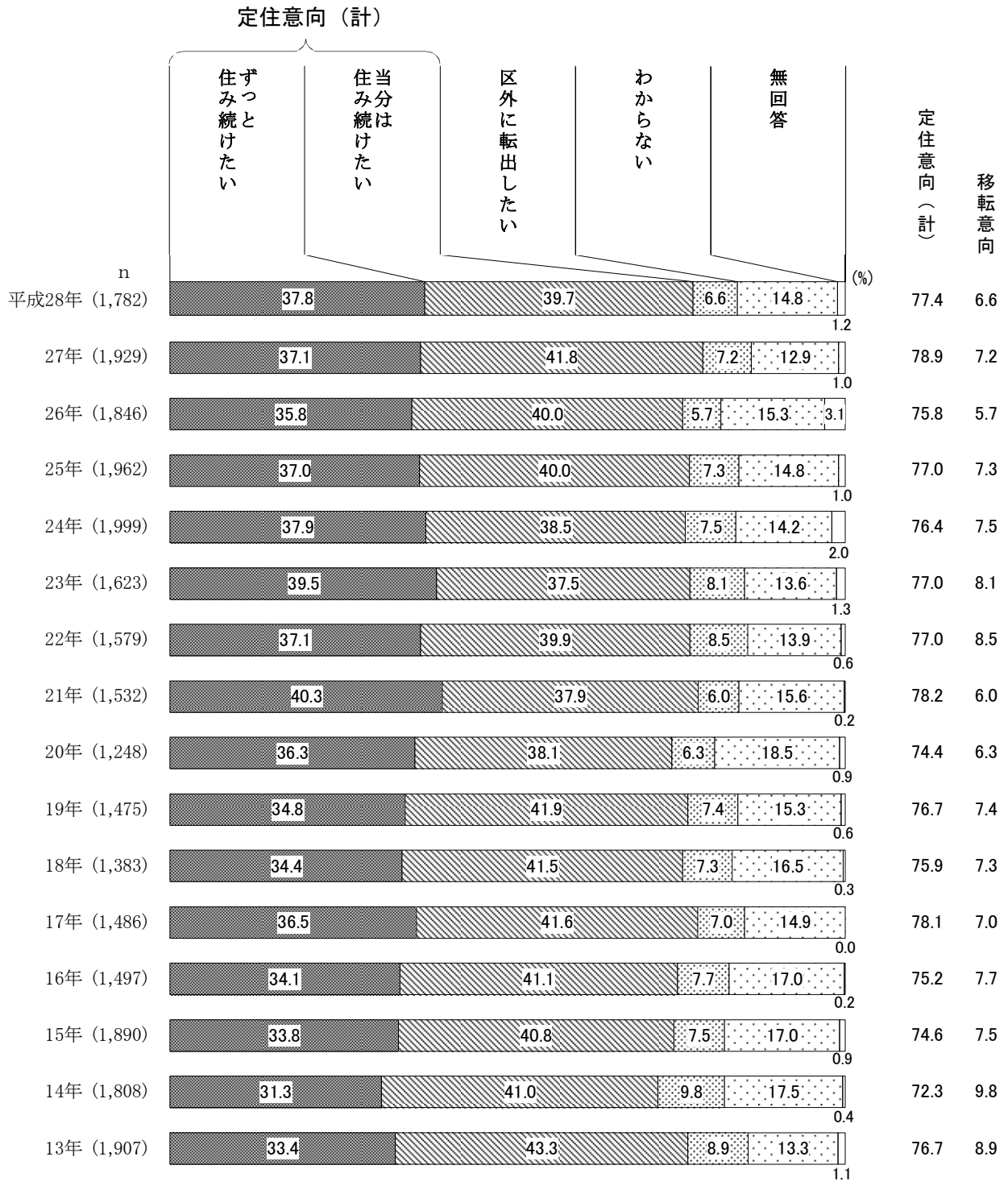


（５）定住意向

■ 【定住意向】がある人は、昨年から微減するも、７割台後半を維持

問４　あなたは、足立区に今後も住み続けたいと思いますか（○は１つだけ）。

図１－５－１　経年比較／定住意向

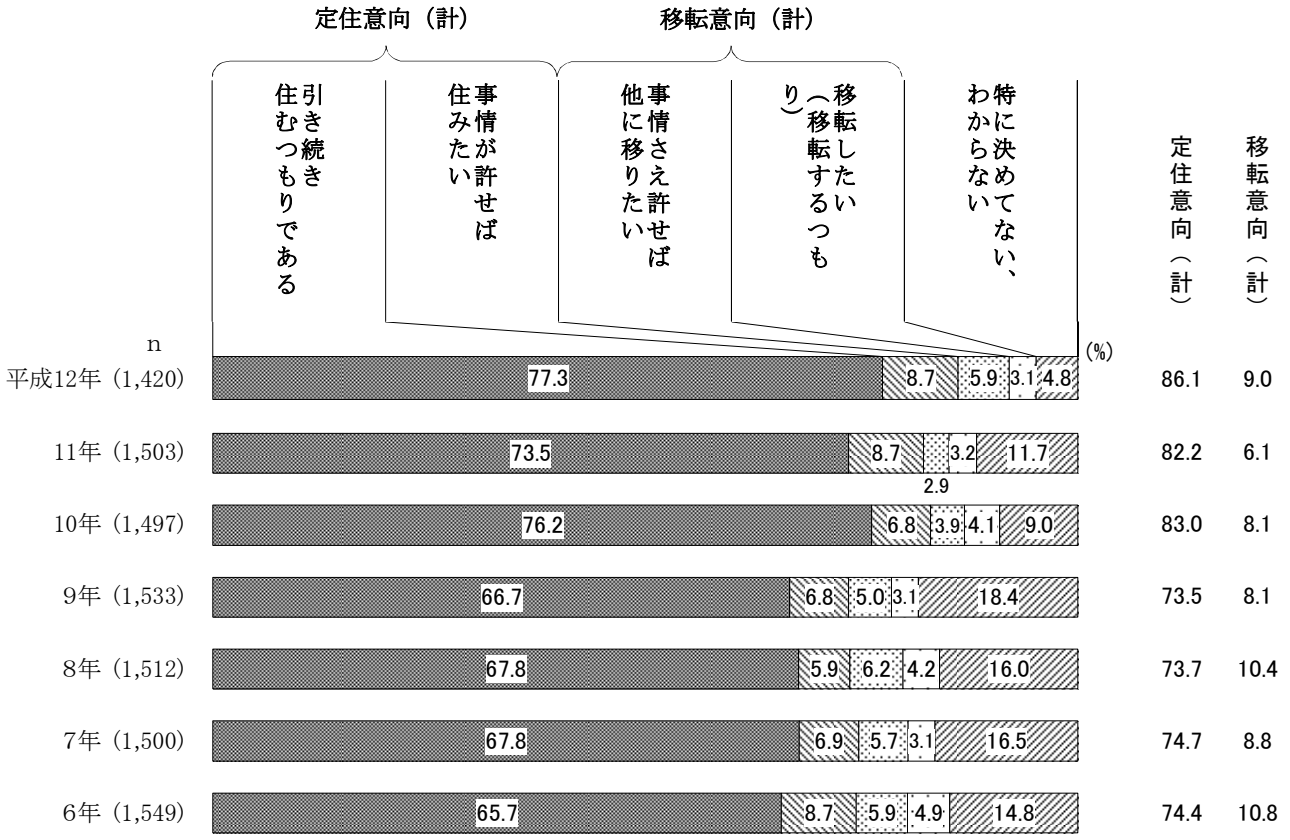


足立区への定住意向を経年でみると、今回調査では、「ずっと住み続けたい」と「当分はすみ続けたい」を合わせた【定住意向】は今回77.4％とほぼ横ばいとなっている。

参考／定住・移転意向の推移

問　あなたは、足立区に今後も住み続けたいと思いますか。この中から１つにお答えください。

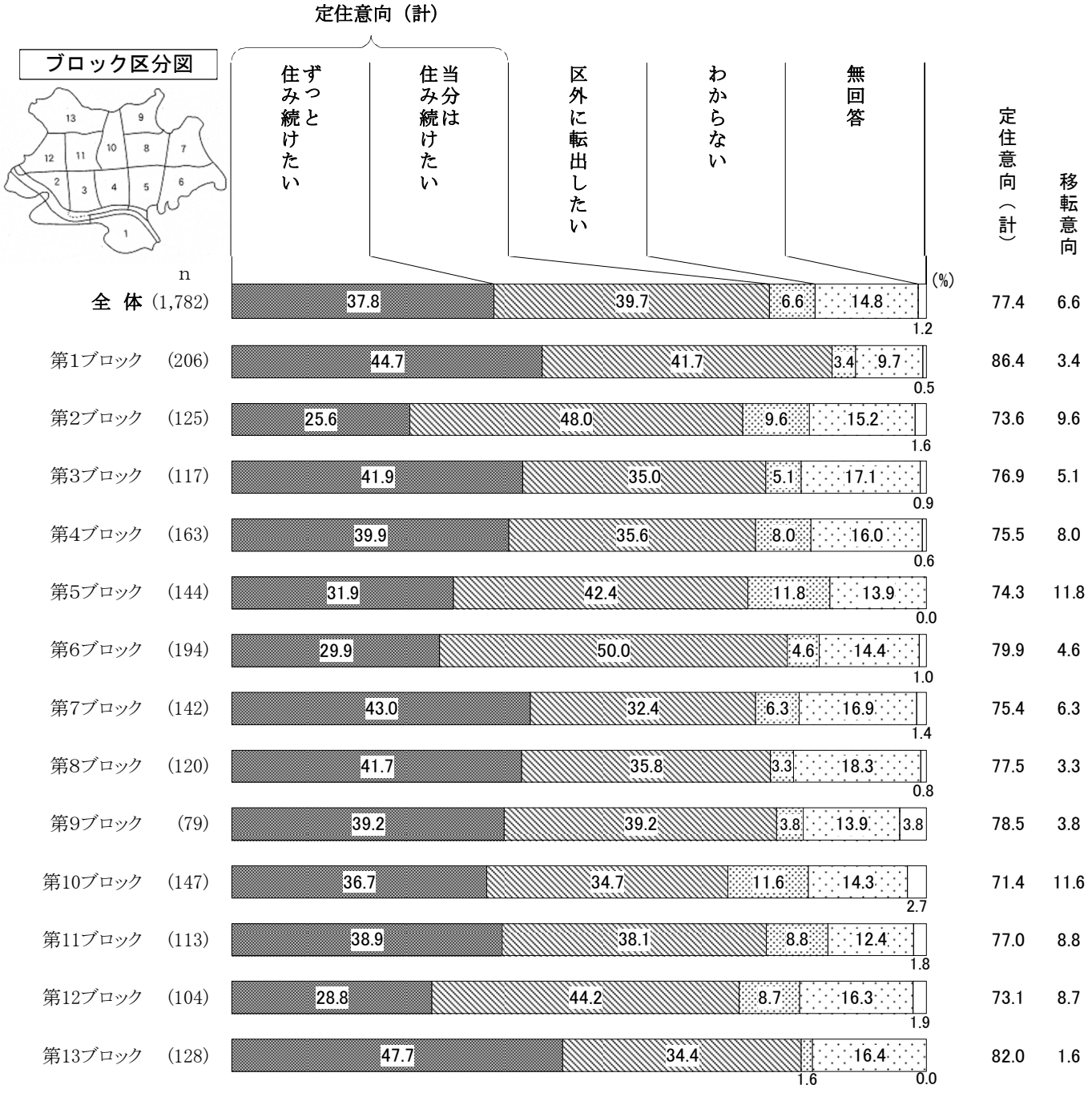
（○は１つ）



※　平成12年までと平成13年以降では、調査方法（平成12年までは訪問面接法、平成13年以降は郵送配布郵送回収法）、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

地域ブロック別でみると、【定住意向】は、第１ブロックで86.4％と最も高く、以下、第13ブロック（82.0％）、第６ブロック（79.9％）の順となっている。

図１－５－２　地域ブロック別／定住意向

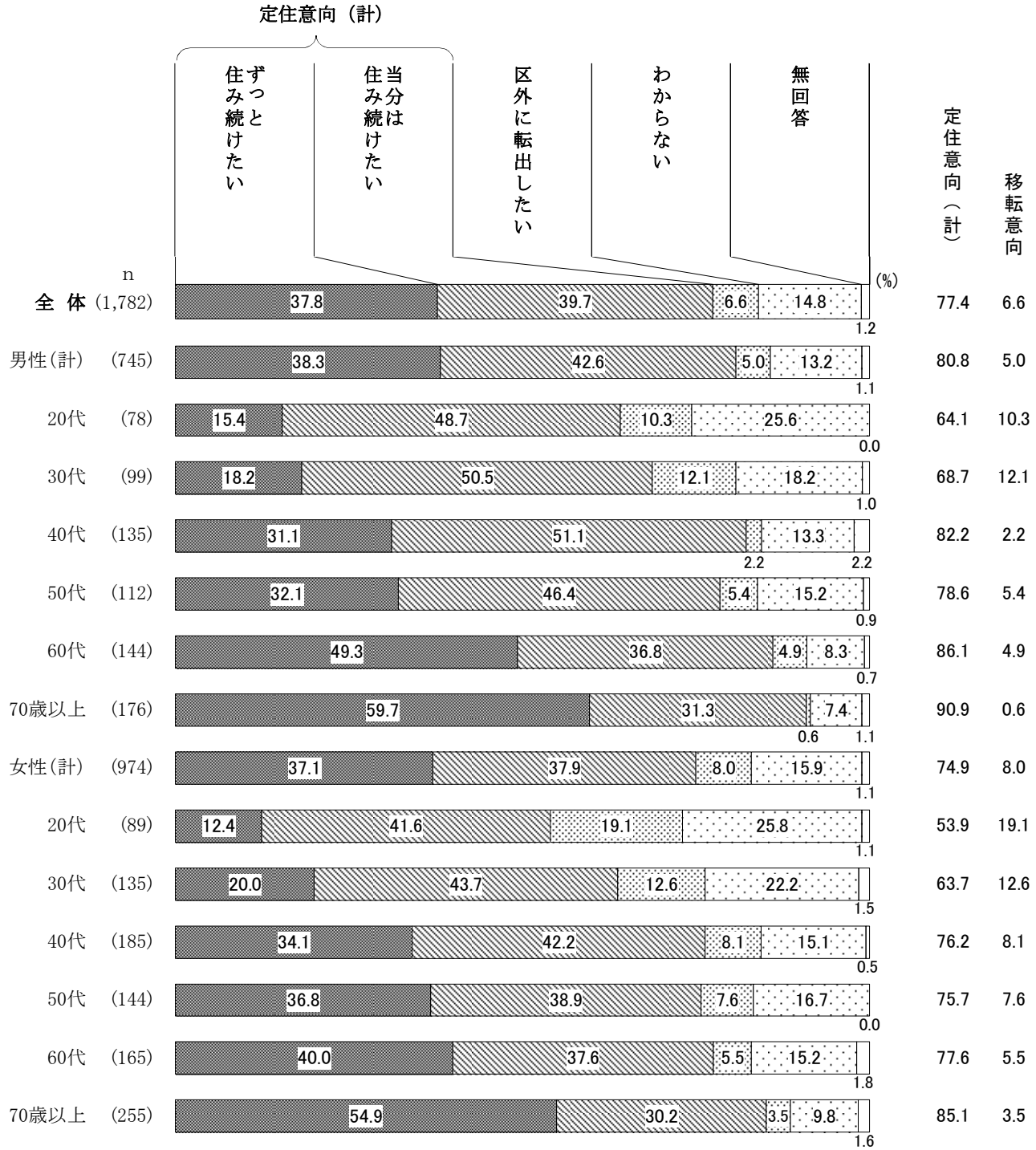


性別でみると、【定住意向】は、男性80.8%、女性74.9%と、女性より男性が高くなっている。

性・年代別でみると、男性では、【定住意向】は60代、70歳以上で、それぞれ86.1%、90.9%と高くなっている。

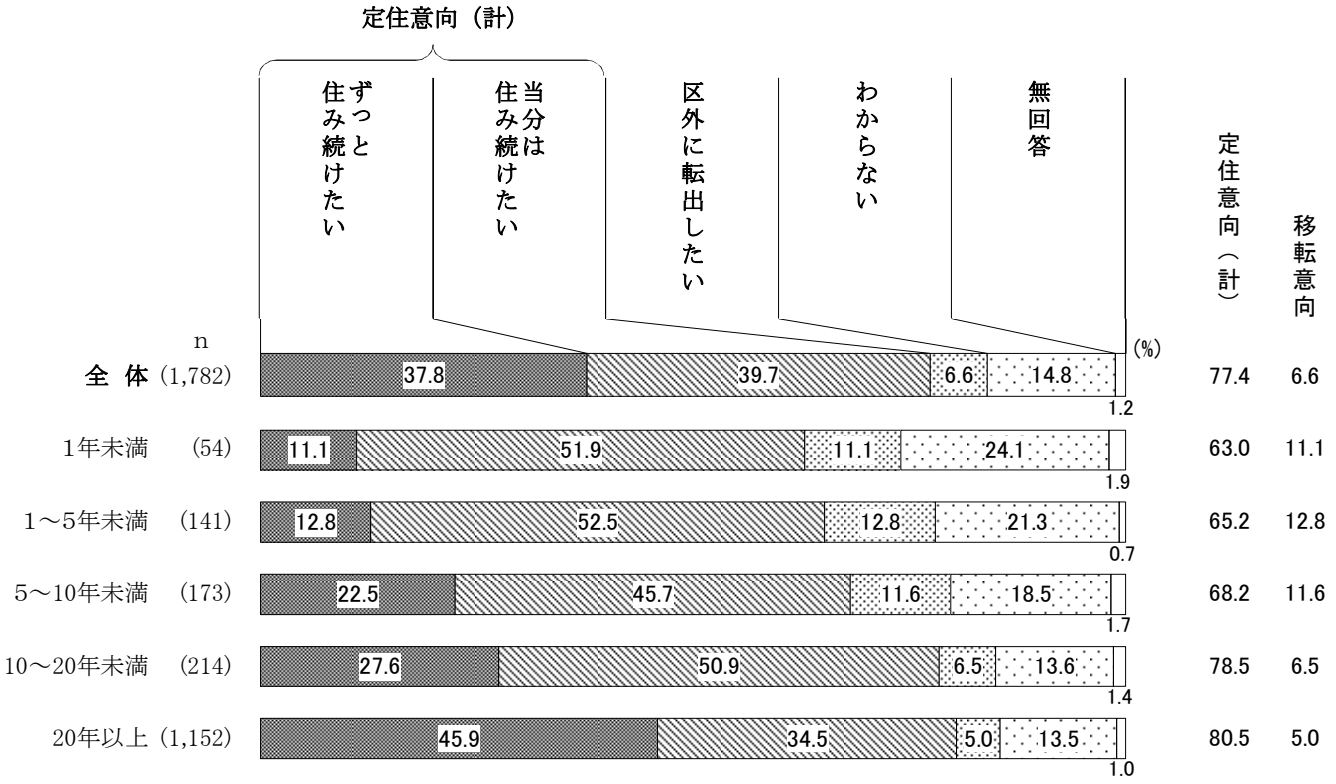
女性では、40代以上では、【定住意向】は各年代とも７割を超え、とくに70歳以上では85.1%となっている。

図１－５－３　性別、性・年代別／定住意向



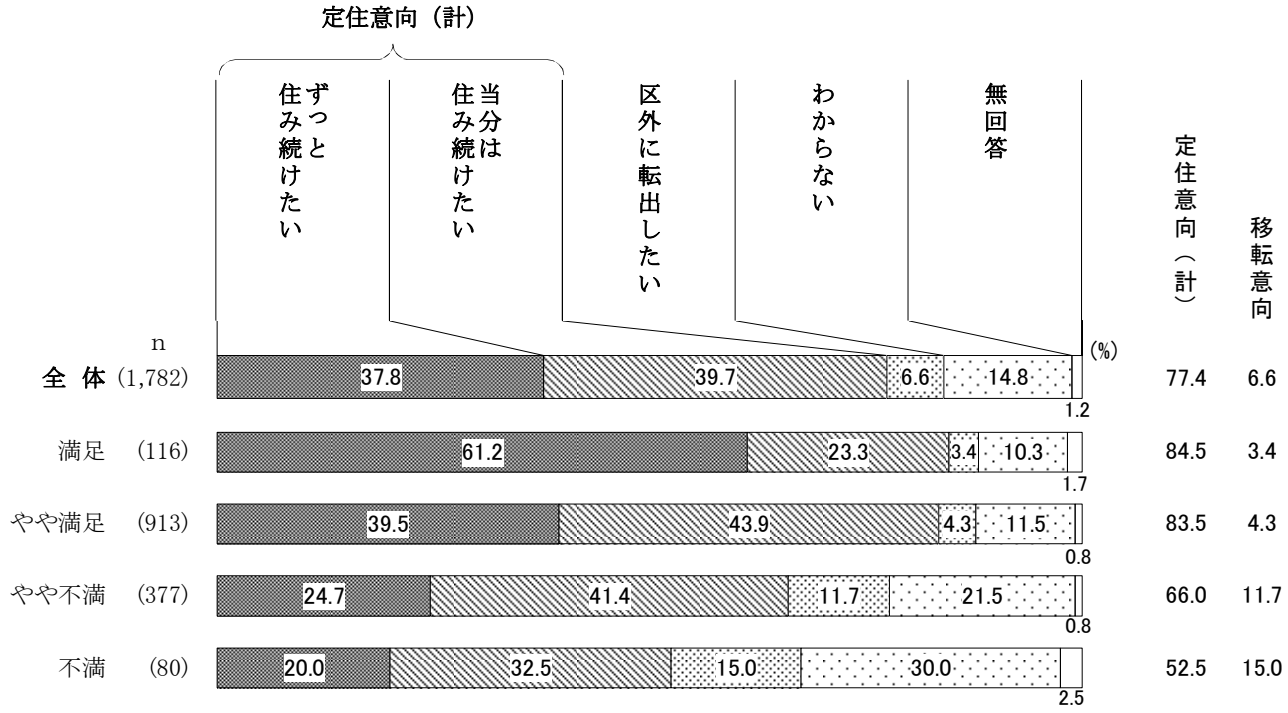
定住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれて、増加する傾向を示している。

図１－５－４　居住年数別／定住意向



区政への満足度別にみると、満足度が高くなるにつれて、【定住意向】は高くなり、満足という層では84.5％となっている。

図１－５－５　区政満足度別／定住意向



ライフステージ別でみると、高齢期で【定住意向】が85.1%と高くなっている。

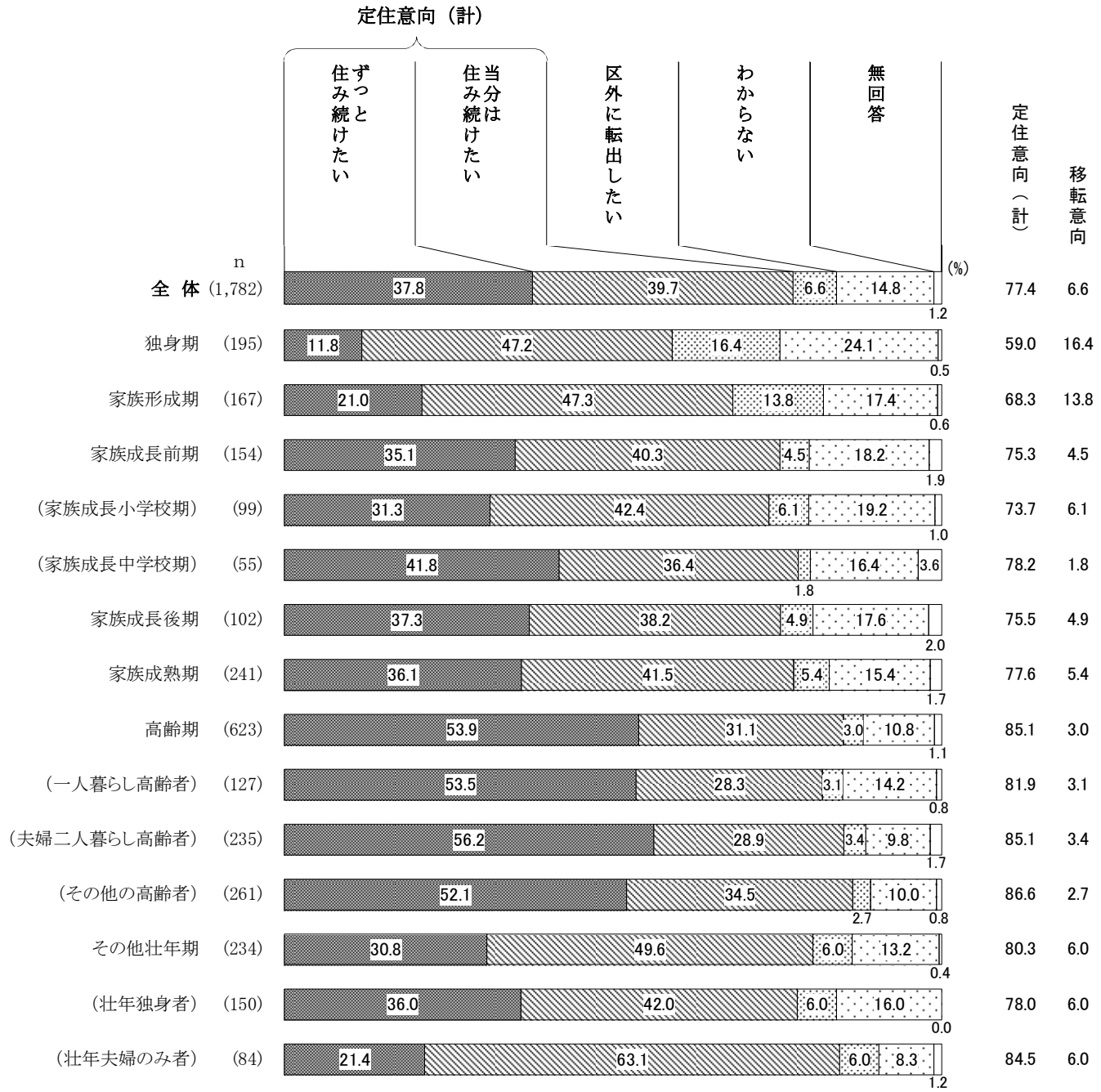



図１－５－６　ライフステージ別／定住意向